

2021 年度

教 育 要 項

[M2. M3. M4. M5. M6]

順天堂大学医学部

目 次

目 次	
はじめに	1
順天堂大学医学部コンピテンシー	2
順天堂の建学の理念	5
順天堂大学医学部の使命	6
順天堂大学医学部	
アドミッション・ポリシー, カリキュラム・ポリシー, ディプロマ・ポリシー	7
医学部での教育のあり方について・教員の責務と学生の義務	10
病院等での実習の心得	11
[理念・医師の服装についてのマニュアル]	
令和3年度医学部オリエンテーション説明事項	13
個人情報保護に関する誓約書	19
個人情報利用に関する同意書	21
学外実習先に提出する履歴書書式	23
ナンバリング・カリキュラムマップ	24
医学部カリキュラム概略図	26
科目責任者（オーガナイザー）一覧	28
指定教科書・参考教科書・参考書一覧	30
各学年における試験等の名称・出題範囲一覧	38
M2 授業概要（シラバス）	41
M3 授業概要（シラバス）	226
M4 授業概要（シラバス）	520
M5 授業概要（シラバス）	656
M6 授業概要（シラバス）	665
医の原則・医学と医療の倫理等に関する授業一覧	691
各試験に関する事項・その他参考資料	695

はじめに

医学部長 服部 信孝

近年の医学の進歩は目覚ましく、医学部の学生が修得しなくてはならない知識・技能は膨大なものとなっています。したがって、限られた授業時間のなかで十分な学習効果をあげるためには、皆さんの「学び」に対する active な姿勢が重要になってきます。医学部の6年間では、将来自分が医師や研究者として活躍するために必要な知識・技能・態度を勉強することになりますが、実は医学部卒業後も生涯を通じてこの「学び」に対する active な姿勢を保持し続けることが求められます。医学部教育において最も大切なことは、受動的に知識を取得するのではなく、自ら学び、考え、問題を解決する能力を育成することです。皆さんには自ら学習する習慣（passive なものから active なものへ）を培ってもらいたいと思います。授業は教員による一方向の講義ではなく、team-based learning（TBL）や質疑応答を多く取り入れた双方向のものが好ましいと考えています。

この教育要項はこのような理念に基づき、皆さんが自主学習しやすいようにと、担当の先生方が苦心して作成されたものです。教育要項には、どの日にどのようなテーマで講義や実習が行われるかが記載されています。あらかじめ一読し予備知識をもって、講義や実習に臨んで下さい。そうすることで、より一層理解することができ、医学に興味をもてるようになると思います。この教育要項を大いに活用し、積極的に知識や技術を学び取ってもらいたいと願っています。

順天堂大学医学部 コンピテンシー

1. 診療技能・患者ケア

- a. 成人及び小児・高齢者の基本的な医療面接・身体診察と臨床手技を適切に実施できる。
- b. 診断・治療・全身管理に積極的に参加できる。
- c. 患者・家族の思いや苦しみを理解し最善の医療に参加できる。
- d. 病状説明・患者教育に参加できる。

2. 医学的知識

- a. 各臓器の構造と機能を理解し、説明できる。
- b. 各臓器の異常に基づく病態や臨床症候について概説できる。
- c. 発達、成長、加齢に関する知識を有し、応用できる。
- d. 臨床推論により疾患を鑑別でき、診断に必要な検査と治療内容を計画できる。
- e. 基礎医学と臨床医学の知識を連携させて症状・疾患を理解できる。
- f. 最新のエビデンスに基づく医学・医療情報を理解・応用することができる。

3. 医療安全

- a. 正確な医療知識・技術が医療安全につながることを理解できる。
- b. インフォームド・コンセントを理解し実践できる。
- c. 個人情報の扱いの重要性を理解し、適切に管理・運用できる。
- d. 感染予防対策の適切な方法・プロセスを理解し、実践できる。
- e. 問題を起こしやすい状況とその対応を理解し、情報共有ができる。
- f. 自己の健康管理ができる。

4. チーム医療

- a. 医療チームの一員として積極的に参加できる。
- b. 他職種の職務内容とチーム医療を理解し、必要な知識を有し、連携することができる。
- c. 患者の抱える問題を理解し、医療スタッフと情報交換できる。

5. コミュニケーション

- a. 一般社会人として信頼関係が構築でき、情報共有ができる。
- b. 医師や他の医療職種、患者、家族と良好なコミュニケーションがとれる。
- c. プレゼンテーション能力や人を指導・教える能力を有し、応用できる。

6. 医療の社会性

- a. 行動科学、社会医学を理解し、医療制度を概説できる。
- b. 患者・国民のニーズを理解し、必要な医療と医療制度を概説できる。
- c. 地域医療のシステム、現状、問題点、プライマリ・ケアの役割を理解できる。

7. 倫理とプロフェッショナリズム

- a. 医の倫理・生命倫理および患者の権利について理解し行動できる。
- b. 倫理・法律に反しない行動ができ、利益相反について理解できる。
- c. 患者の立場と心理を理解し、双方にとっての最善の結果が得られる医療を提案できる。
- d. 社会資源を使って育成されていることを認識し、医療人としての責任感をもって行動できる。

8. 自律的学習能力

- a. 自分の目標に向けた学習ができる。
- b. 適切な情報収集ができ、活用できる。
- c. 後輩・同級生を指導することで自らも学ぶことができる。
- d. 医学研究に対する興味を高めることができる。

9. 順天堂大学医学部で学んだ者としての誇りと責任

- a. 順天堂大学で学んだ者として、思いやりを持った行動ができる(寮生活などの共同生活経験を含む)。
- b. 医の歴史を理解した上で、医学・医療の発展をめざすことができる。
- c. 健康に与える運動の影響を考慮した医療を提言できる。
- d. 国際的に活躍できる語学力、医療能力を身につける(TOEFL・IELTS・USMLE 対策、交換留学などを含む)。

順 天 堂 の 建 学 の 理 念

順天堂の建学の理念

「順天堂」の歴史は、天保9年（1838年）初代堂主佐藤泰然が江戸・薬研堀（両国橋の袂）に蘭方塾を開いた時に遡る。そして順天堂は医育機関を併設した西洋医学の医療機関として、日本で最も長い歴史と伝統を持つ。

天保14年（1843年）、佐倉に新たに塾を開くが、この幕末から明治初期に至る佐倉順天堂時代には、最新の西洋医学と医療技術の導入により患者に最善の医療を提供しようとする努力が払われた。これは、即ち、今でいう patient-oriented medicine の実践を信条とした医療であった。また、順天堂は全国から入門する百数十名をこえる塾生の教育に力を入れたが故に、【日新の医学、佐倉の林中より生ず】という言葉が生まれるに到った。爾来、順天堂は常に時流を見据えて【不断前進】の理念を持ち続け創造的な歩みを進めてきた。

たゆまぬ前進と改革を続ける一方で、不易に守り通してきた精神は、【天道に則り、自然の摂理に順う】ことで、これこそが、中国の古典・易経に表された【順天応人】、孟子の言藁に見られる【順天存者、逆天滅者】であり、本学の名称の由来となる精神となっている。

医学に携わる者は、常に天道に真摯に従い、人間世界の援護者であり続けなければならない、従って、開学以来、本学が重視してきた信条は、まさに【人間医師】の育成であり、順天の精神を根底に持つ人材の育成である。

また、現在における【学校法人順天堂】では医療と医学教育に併せて、スポーツ健康科学部を設け、少人数制による全人格的教育をもって、体育・スポーツ・健康の維持、そして、健康増進の相互連関を究明し、医学知識の豊かな保健体育指導者の養成、更に、医療看護学部では看護師と保健師、助産師の育成にも力を注いでいる。このように順天堂は国民の病を癒すことのみならず、高齢者を含めた全国民の健康維持と増進をその理念として歴史を刻んできた。

順天堂の校章は、「仁」の文字を意匠化したもので明治時代から順天堂医院の薬袋に使用されていたものである。「人ありて我あり、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」。病める人々の立場に立つ心、学是であるこの「仁」を大切に育み、次世代を担う学生や若い研究者の涵養をしつつ近代医療を推進している。

順天堂大学医学部の使命

医学部は、人類の健康・福祉に寄与できる専門的な知識、技術を身につけ、「科学者」の視点を持ちつつ、感性豊かな教養人としての医師・医学者を養成することを目的（＝使命）とする。そのために、以下の目標を定める。

1. 科学的根拠に基づいた医学・医療を行うための体系的な知識と確実な技術を身につける。
2. 不断前進する医学・医療を生涯にわたってアクティブに自学自習する態度・習慣を身につける。
3. 常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・医学者として他を慮り、慈しむ心、即ち学是「仁」の心を涵養する。
4. チーム医療・研究を円滑に遂行できる能力と習慣を身につける。
5. 国際社会に役立ち、未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養を培う。

1. アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

求める学生像

医学部では、医学・医療の知識・技能のみならず豊かな感性と教養を持ち、国際社会や地域社会に貢献し、未来を拓く人間性溢れる医師・医学者を養成するため、次のような学生を求めます

- 1.一人の人間として、人間と自然を愛し、相手の立場に立つ思いやりと高い倫理観を有する人
- 2.幅広い人間性、柔軟性と協調性を備えた基本的なコミュニケーション能力を有する人
- 3.自ら課題を発掘し、知的好奇心を持って、課題解決に取り組む主体性を有する人
- 4.国際的な視点から医学・医療の進歩に貢献しようとする熱意を有する人
- 5.入学後も、自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲を有する人

大学入学までに身に付けておくべき教科・科目等

医学部では、大学入学までに高等学校等において、次の教科・科目等を身に付けておくことが望まれます。

- 1.理科:物理、化学、生物についての十分な知識と科学的な思考力・探究心
- 2.数学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについての十分な知識と論理的思考力
- 3.英語:国際社会で活躍するための基礎的なコミュニケーション能力、十分な読解力、表現力、思考力、会話能力、言語や文化についての理解、TOEFL-iBT 68 点程度/IELTS 6.0 程度、もしくは同等水準の英語能力
- 4.国語:十分な文章読解力、文章構成力、論理的表現力
- 5.地理歴史・公民:世界史B、日本史B、地理B、現代社会、倫理、政治・経済についての基礎的な知識
- 6.特別活動及び課外活動等を通じた主体性、協調性、思いやり、奉仕の心

入学者選抜の基本方針

医学部では、医師・医学者になろうと努力する学生に対し、6年間で卒業し、ストレートで医師国家試験に合格させるよう教育しますが、単に医師国家試験合格だけを目指すのではなく、国家試験をものともしない、知性と教養と感性溢れる医師・医学者を養成するため、入学者選抜方法として、学力試験のみならず、受験生の感性や医師・医学者となるべき人物・識見・教養を見極めるために、小論文試験・面接試験を課し、また、小中高に至る活動を知る資料の提出により、総合的な判定に基づき、入学者を選抜します。

2. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

順天堂大学医学部の使命の下で、卒前卒後の継ぎ目のない教育を目指し、順天堂大学医学部のコンピテンシーを身に付け、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力を修得するため、以下のとおり教育課程を編成・実施します。また、学修成果を適切に評価し、教育方法の改善を行います。

1. 科学的根拠に基づいた医学・医療・研究を行うための体系的な知識、確実な技術・技能、適正な態度を身に付けるため、1年次には自然科学と英語を中心とした基礎教育及び医療入門を提供します。また、特定の課題を少人数による議論と思考で進めるPBL(problem based learning)を行い、全学生のモチベーション及び課題探求力・分析的評価能力を向上させる場を提供します。1年次後半以降の専門科目においては、生命科学、基礎医学、臨床医学を関連づけ、体系的に学び、医学への探求心を養うため、臓器別・病態別の水平的・垂直的統合型カリキュラムを採用します。
2. 3年次には、科学的思考能力を高め、医学における研究の重要性を理解し、生涯にわたってアクティブに自学自習する態度・習慣を涵養する小グループ制の基礎ゼミナールを設定します。将来、研究者を目指す者に対しては、研究医を養成するコースを設けます。
3. 常に相手の立場に立って物事を考え、人間として、医療人として他を思いやり、慈しむ心、即ち学是「仁」の心を涵養するため、1年生全員を学生寮に約1年間入寮させ、集団の中での個の確立と、学是「仁」の涵養を寮生として実践実習します。
4. 入学後の早い時期から病院見学、看護実習、施設実習、医療体験実習、診察技法実習、基本手技実習、救急医学実習等の体験実習を行います。医療職の一員として医療の現場に参画することにより、保健医療制度を理解し、多様な職種との連携や共同作業を行えるコミュニケーション能力の涵養を目指します。特に、4年次後半からの本格的な臨床実習では、それぞれ特徴的な機能を持つ医学部附属6病院で患者を受け持ち、実際に医療チームに加わることで、臨床能力を身に付ける教育を行います。
5. 国際社会で活躍できる能力、豊かな教養を養うため、教養教育を重視するとともに、TOEFL・IELTSなど実践英語を高学年まで課します。5、6年次の臨床実習では、海外での実習機会(2~8週間、留学先は自ら選べる)を提供し、国際的視野を獲得する場を提供します。

学修成果は、授業科目の修得状況による客観的評価、コンピテンシーの項目群を学生が参照し、定期的に自己のパフォーマンスを評価する主観的評価によって、包括的に評価します。各科目のコンピテンシー達成レベルはシラバス等に明示します。

評価結果を活用し、カリキュラムの自己点検・評価を行います。内部質保証の維持、向上のため、第三者の視点を踏まえ、カリキュラムの自己点検・評価を定期的に行い、教育方法の改善につなげていきます。

3. ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)

医学部では、順天堂大学医学部の使命の下で策定された各年次のカリキュラムを履修し、かつ定められた基準に合格することによって、順天堂大学医学部のコンピテンシーを身に付け、次の資質・能力を修得した者に対して学士(医学)の学位を授与します。

- 1.科学的根拠に基づいた医学・医療を行うための体系的な知識、確実な技術・技能及び適正な態度が身に付いている。
- 2.常に進歩する医学・医療を生涯にわたってアクティブに自学自習する不断前進の態度・習慣が身に付いている。
- 3.常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・医学者として他を思いやり、慈しむ心(学是「仁」)が涵養されている。
- 4.チーム医療・研究を円滑に遂行できる能力と習慣が身に付いている。
- 5.グローバル化する国際社会における諸問題に多面的な視点から対処し、解決できる能力と未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養が身に付いている。

医学部での教育のあり方について・教員の責務と学生の義務

【ミッション】

- 1) 授業は、単に知識・技術の伝達ばかりではなく、教員と学生との直接的なコミュニケーションを通して、医師としての人間性を育成するための教育の場でもある。ベッドサイドでも、実習の場でも、教室においても当然そうである。
- 2) 教員には教育する責任があり、学生には履修義務がある。それがどうでもよい、来なくてもよいというのでは、学習の場としての大学の存在意義を自己否定するものである。特に、医学部学生の不勉強は、患者に迷惑をかける。
- 3) 学生を教育することは、教員自らの研究・診療活動能力を向上させるうえで最も重要である。
- 4) 学生の学習意識を **PASSIVE** なものから **ACTIVE** なものに変化させるよう、教員側が全教科を通じて努力することと、その手法を工夫することが重要である。学生も自ら学ぶ意識を堅持し、積極的な姿勢で勉学に臨むことは必須である。
- 5) 学生のモチベーションの向上を図り、それに基づく教育体制を整備することは、本学全体の教育のみならず研究や臨床における活動水準を高めることに繋がる。
- 6) 授業時間中に前回または当日の授業内容の理解度を問う試験を行い、出席をとる。同時に学生の授業に対する意見を聞くことの徹底（教務課にて用意されている「授業評価票」使用の徹底）を図る。また、教育者としての自己評価・他者評価を重視する。
- 7) 学部教育や臨床教育（BSL）においては、教授・准教授・講師・助教が学生に対して直接教育するが、それのみに止まらず大学に集う者全てが教育に関与すべきである。病院などの現場においては、『屋根瓦方式』による教育の重要性を認識することが重要である。これは教員のみには留まらない。学生も同級生・下級生に教えることによって知識の確認を行うべきである。

病院等での実習の心得

順天堂医院理念

順天堂の「天道に則り、自然の摂理に順う」精神で人々の生命を尊重し、人間としての尊厳および権利を守る。更に「不断前進」の精神で、創造的な改革を進め、医療人の育成および最善の医療の提供を目指す。

基本方針

1. 患者さん一人ひとりに、安全で根拠に基づく良質かつ高度な医療を提供する。
2. 患者さんと家族が満足できるサービスを提供する。
3. 患者さんが安心して快適な療養生活ができる環境を提供する。
4. 特定機能病院として、先進医療の開発・導入を行い、優れた医療技術を提供する。
5. 救急医療活動や在宅医療における役割を担う。更に災害時の拠点病院として地域医療に貢献する。
6. 省エネ、エコロジーを推進し、環境保全活動に努める。
すべての医療従事者は、この実現のために取り組むものとする。

「患者さんの権利」

医療は患者さんと医療機関との十分な信頼関係で成り立っています。順天堂医院では、すべての患者さんに次の権利があると思料し、尊重した医療を行います。

1. 良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. 一人ひとりの人格や価値観などが尊重された医療を受ける権利があります。
3. ご自分の希望や意見を述べる権利があるとともに、希望しない医療を拒否する権利があります。
4. 理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
5. 十分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報を守られる権利があります。
7. 患者さんが主治医（かかりつけ医）から勧められた治療を選択するにあたり、納得して治療を受けられるよう、セカンドオピニオンにより、主治医（かかりつけ医）以外の医師に意見を求める権利があります。

「患者さんへのお願い」

順天堂医院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、適切な医療の提供にご協力くださいますようお願いいたします。

1. 誤認防止のため、患者さんに氏名（フルネーム）および生月日を確認しています。
2. 治療上必要なルールは、お守りください。また、治療について不安を感じましたら、どんなことでもすぐにお知らせください。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう配慮に努めています。他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
4. 当院では、防犯および安全管理上の理由により、院内における任意の場所にビデオカメラを設置しています。なお、撮影された映像データは、防犯および安全管理上に問題がある場合に限り使用し、一定時間保管後破棄いたします。

順天堂医院：医師心得

順天堂医院の医師は診療・教育・研究に全力を尽すとともに以下の心得を堅く遵守されたい

1. 何より医療安全に留意すること（絶対に患者の心身を傷つけないこと）
2. 患者に、優しく、思いやりをもって、謙虚に！！ 接遇に最大の注意を払うこと！！（医療訴訟防止の原点）
3. 患者の秘密を守る（守秘義務・個人情報の保護）
4. コスト意識を持ち、無駄を省くこと
5. 順天堂医院に相応しい上品で清潔な服装と言動を（規定あり）
6. エレベーターは患者最優先、原則として私語禁止
7. 廊下は患者最優先！横に広がらず、どちらか片側を歩く
8. 原則として聴診器を首にかけて院内外を歩かない
9. 白衣にて院内外のレストランへの出入り禁止（職員食堂を除く）
10. 十分な説明とインフォームドコンセントの徹底

医師の服装、身だしなみについてのマニュアル

医療現場では医師の服装、行動は患者、家族から見られている。
順天堂医院は災害拠点病院であり、緊急時への対応も念頭に置く必要がある。

- 1) ケーシー型白衣着用の際には、下に無地または薄い色の半袖のシャツを着用する。
- 2) 男性が上着型白衣を着用する際には、ネクタイを着用する。
- 3) 緊急時を除き、手術着・検査着を着用したまま当該部署以外に出てはならない。やむを得ない場合には手術着・検査着の上に白衣を着用する。
- 4) 薄手の黒色ストッキングは避ける。
- 5) 「おしゃれ」と「みだしなみ」は異なることを理解し、就業に相応しい頭髪、化粧を心掛ける。

医師・職員の服装、みだしなみについての心得

順天堂の歴史と伝統に恥じないように心掛けること。

- 1) 清潔で不快感を与えないこと。
- 2) 緊急時にも速やかに対処できるような動きやすい服装であること。
- 3) ネームプレートは必ずよく見える位置に着用すること。
- 4) 頭髪が肩にかかる場合には束ねたりまとめたりすること。
- 5) アクセサリーは控える。
- 6) 化粧は清楚で品位のあるものとし、香りにも注意する。
- 7) 白衣の前ボタンはきちんと留める。
- 8) 白衣の下に着用する服装は機能面を重視するが、ジーンズ等の作業着は好ましくない。
- 9) 素足は好ましくない。派手な柄のストッキング・靴下は避ける。また踵の出るような短い靴下も好ましくない。
- 10) 靴も機能面に優れたものが好ましい。ブーツ、サンダル（クロックスを含む）、ハイヒールまた派手な色のものは好ましくない。

令和3年度医学部オリエンテーション時の説明内容の骨子（各学年共通：配布）

1. 健康と地域

- 1) 医学部学生にふさわしい態度で、健康の維持・増進に努める。
 - ① 患者、家族、同級生、近隣地域住民等への影響を念頭において行動する。
 - ② 周囲への影響を及ぼす可能性がある場合は、大学・病院の規定に準拠した対応をとる（例：新型コロナウイルス、インフルエンザ、感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症、流行性角結膜炎等による出席停止・自宅安静、宿舍の利用等）。
 - ③ 本郷・お茶の水キャンパス及び周辺地域は、全面的に禁煙である。未成年者の飲酒・喫煙は認められていない。
- 2) 健康診断の受診、ワクチン接種等の指示を確実に実行する。
 - ① 特別な理由なく健康診断の未受診・ワクチンの未接種の場合は、原則として臨床現場での実習は許可しない。
 - ② M2～6の健康診断は、指定した日に受診のこと。
 - ③ 海外実習や臨床研修マッチングでは、原則としてワクチン接種が求められる。大学（健康管理室）で所定のワクチン接種を受けない場合は、自費での接種となる。
 - ④ 「各学年の進級判定基準（1. 進級ならびに卒業判定の基本）」には「進級ならびに卒業判定は、各学年における総合試験・・・（略）・・・の評価、医学生としての態度・モチベーション、健康状況等を総合的に評価して、進級（卒業）判定会議・教授会等において審議し、学長が決定する。」と記載されているが、「健康状況」には「健康診断の受診」が含まれる。健康診断未受診の場合には、進級・卒業できない可能性があるので注意すること。
- 3) 体調不良時は遅滞なく、医療機関・大学の救急室を受診する。勉学に影響がある場合には、速やかに関連部署（本郷・お茶の水キャンパス事務室（以下、事務室）等）に報告する。その際は、必ず診断書を添付のこと。

患者だけでなく、同級生、家族、クラブ員等への影響を最小限に留めるように配慮する。

 - ① 感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザや感染性腸炎、マイコプラズマ感染症等）の予防と治療は、大学のマニュアル・指示に従う。自宅静養期間の外出は、厳に慎むこと。
 - ② 必要な手続き（事務室への連絡、診断書提出等）は、遅滞なく行うこと（書類作成が遅れる場合は電話等で速やかに連絡のこと）。特に、入院加療を行った場合は、入院の報告だけでなく、治療の見通し、退院や学業復帰の時期についても連絡のこと。
 - ③ カリキュラムに関係する診断書の作成料（例：インフルエンザで自宅静養、海外実習先から指示された診断書等）は、順天堂医院では無料となる。診断書作成を依頼する際には、カリキュラムの一環としての診断書である旨を担当医に必ず申告し、授業出席・実習参加の可否を確認し、診断書に記載をお願いします。（担当医は会計伝票に、『本学学生の診断書』である旨等、必要事項を記載する）。不明な点は、学生課に確認のこと。
 - ④ 順天堂医院以外の受診料・診断書作成料は自己負担となる。

2. 授業について

1) 教育要項について

教育要項には、建学の理念等の基本事項、授業概要（キーワード、準備学習、授業形式、到達目標等）、試験規定、試験日程、指定教科書等の授業の参考となる資料一覧が記載されている。必ず、内容を把握し、授業に臨むこと。

2) 授業（講義・オリエンテーション・実習）

- ① 講義時間が学年により異なるので、教育要項を確認すること。
- ② 準備教育（予習、復習）については e-learning (manaba) を使用する講義もあるので、必要な手続きは必ず行うこと。
- ③ 準備教育（予習、復習等）の指示を励行のこと。
- ④ 授業の資料集はあくまでも予習の励行と学習の理解を促すためのもので、教科書ではない。
- ⑤ 指定教科書（授業を理解する上で必須の教科書）、参考教科書（各領域で有名な教科書）、参考図書（領域すべてを網羅していないが、特定の領域で深く自己学習する際に役に立つ）を指定してある。（学術メディアセンターのホームページで最新版の指定教科書等一覧を参照）
- ⑥ 指定教科書は内容・値段等参考に各講座から指定されたもので、各人が準備する。参考教科書、参考図書は図書館に収蔵してある。
- ⑦ 試験問題は、授業の資料集だけでなく、指定教科書からも出題される。
- ⑧ 順天堂の学生として規律正しい態度で授業を受けること。授業ではまわりの人に迷惑をかけないこと。私語等の問題がある場合は、出席を認めないことがある。授業中に堂々と居眠りをしたり、他の学生の迷惑をかける行為は、学生として礼を欠いた行為である。飲食は厳禁とする。教室の使用に際しては、整理整頓に努める（教室は授業以外に学内外の研究会や会議等で使用する）。原則、授業開始後の携帯電話等の電子媒体の使用はオンライン授業や実習に参加する用途以外は厳禁とする。
- ⑨ 座席は、大学から指定されることがあるので順守のこと。
- ⑩ 教室に私物を置かないこと。私物は、ロッカー等を利用して保管のこと。教室に置いた私物については、大学では責任を負わない。
- ⑪ 各学年の教室等の使用時間は 8 : 00 ~ 18 : 00 の範囲として、それ以外の使用は認めない。 祝祭休日等の使用を希望する者は、学生課で定められた手続きを経て使用すること。使用に問題がある場合は、使用に制限を設ける場合がある。
- ⑫ 授業（講義・オリエンテーション・実習）に関連する個々の学生の質問や相談に教員が個別に応じるオフィスアワー制度を設けている。オフィスアワーについては掲示板等で発表する。

3) 出席について

- ① 試験の受験資格は、少なくとも講義の 3 分の 2 以上の出席が必須要件となる。 各自で自分の出席状況を確認して、受験資格を喪失しないように注意のこと。また、受験資格を喪失した場合、当該科目の評価はつかない。 出席不足による受験資格有無の判断は、当該科目の講義等がおこなわれる最終日に行う。「欠席届」を提出する場合は、体調回復後速やかに提出することを原則とするが、遅くとも当該科目の講義等がおこなわれる最終日の 17 : 00 までには提出すること。体調不良等やむを得ない理由で、大学に来ることができず「欠席届」を提出することができない場合は、教務課まで事前に連絡をすること。
- ② 出欠の登録（出席カード提出等）で不正があった場合は、当該カリキュラムの試験（Zone・Unit 試験・Group 試験だけでなく、総合試験等も含む）の受験資格がなくなり、学年末の進級の可否が判定会議で討議される。 不正行為に対する対応は、別途会議で決定する。

- ③ すべての実習は、オリエンテーションも含めて遅刻することなく出席する。遅刻・欠席をする場合には、速やかに事務室に電話等で連絡し、必要な書類（診断書、報告書等）は事務室を通して担当教員に提出する。追実習の機会が与えられる場合は、「補助試験・再試験 受験願/追実習受講願」を記載し、券売機にて受験料・受講料を支払って申請する。追実習当日に領収書（兼受験票/受講票）を持参していない者の受講は認めない。この場合、当該実習は全出席とならず評価を0点とする。単位が付与されている実習科目は不合格とする。
- ④ 授業・実習に際して指示のあった事項は、遵守すること。実習にふさわしい服装・態度等が求められる。実習の準備が整っていない者（白衣・服装・診察器具等）は、実習を許可されないことがある。白衣は各人で準備し、院内医師用のものは絶対に使用しないこと。
- ⑤ カリキュラムにかかわるオリエンテーションには遅刻することなく出席すること。

4) 欠席の取り扱い

- ① 体調不良等やむを得ない理由で、授業を欠席した場合には、『欠席届』に理由を記入して診断書等を添付のうえ事務室に届け出ること。保護者が作成した診断書の提出は原則認めない。
- ② 特別な理由なくオリエンテーションや実習を欠席した場合は当該授業にかかわる試験の受験を認めないか「0点」となる。著しい遅刻も同様の扱いとなる。
- ③ 感染性疾患（新型コロナウイルス、インフルエンザ、マイコプラズマ感染症、感染性腸炎、感染性結膜炎等）の場合は、院内規定に従い出席停止となる。欠席届と診断書（原則、順天堂附属病院のもの）の提出が必須となる。これに該当する授業時間は必要な出席時間数から減じて、出席率の計算を行う。
- ④ 体調不良や疾病による欠席については、個々の事情を勘案して教育的見地から対応する。

5) レポート等の提出物について

- ① レポート、評価表、アンケート等の提出物は、原則として授業終了後1週間以内に提出のこと（ただし、担当教員から指定のある場合はそれに従う）。
- ② 所定の書類が提出されていない場合には、教務委員会・カリキュラム委員会や進級判定会議・教授会等での授業評価や進級判定の資料作成ができない。レポート等、所定の書類が未提出の場合、当該授業科目の評価はつかない。

例えば、出席20%、試験60%、レポート20%で評価する科目の場合、「出席」「試験」「レポート」の全ての評価要素が揃ってはじめて評価が付される。すなわち、評価要素のどれかひとつが欠けた場合、当該授業科目の評価はつかない。

- ③ レポート等の提出物について、剽窃が発覚した場合には当該科目の評価はつかない。

6) 授業（実習を含む）に係る経費の自己負担について

- ① 授業において個人が専用で使用する指定された器具（例：M2 解剖用具、M3 診察器具等）。
- ② 授業を欠席した場合の補講等の諸経費
- ③ その他、本人の責任で経費発生の場合

3. 教育要項について

教育要項は授業の概要だけでなく、学習上の注意点（特に実習）、授業評価等の重要事項が書かれているので、必ず確認をしておくこと。

4. 連絡事項の確認について

連絡事項の伝達は、①教育要項、②配布資料以外に、掲示版（事務室前、教室）、JUNTEND O PASSPORT等でも行なわれるので、必ず確認のこと。

5. 試験について

- 1) 時間厳守のこと（学内試験の開始 10 分前には受験席で待機する。別途指定のあるものは指示に従う）。事故等による遅刻、欠席の可能性がある場合は速やかに事務室に連絡のこと。30 分以上遅刻の場合、受験は認められない。
- 2) 試験開始後 30 分間は退室できない。トイレによる退室も許可しない。ただし、体調不良の場合は、試験監督の教員・事務に報告のこと。交通機関の事故等で到着が遅れる学生がいる場合には、30 分を超えても退室を認めないことがある。
- 3) 受験中は筆記用具・消しゴムと名札のみ机に置く。荷物は自分の椅子の下に置くこと。
- 4) 原則、携帯電話等の電子機器は電源を切り、身に付けないこと。これらのことが遵守されていない場合は不正受験とみなされ、受験資格がなくなる。
- 5) 試験会場を退出後も、指定の試験終了の時間までは、携帯電話・電子媒体を手にしない。
- 6) 指定の時間内にこれらの電子媒体を手にしていると不正受験者と見做されることがあるので、十分に注意のこと。
- 7) 試験中の飲食は、厳禁とする。
- 8) 試験中に質問などがある場合は、挙手をして指示に従う。
- 9) 試験中のトイレに原則 1 名ずつ許可を得ていくことができる（原則として、試験開始 30 分は許可しない）。
- 10) 試験中は試験監督あるいは医学部事務担当者の指示に従う。
- 11) 試験問題に関する質問等は所定の用紙に記入して、指定された時間までに事務室に提出のこと
- 12) 急病等で試験を欠席する場合は速やかに（できれば試験開始の時間前）事務室に連絡し、後日診断書等の必要書類を添付して欠席届を教務課に提出すること。欠席者に追試験の受験が認められる場合は、試験日時や会場について事務室の指示に従うこと。試験を無断で欠席した場合は、試験放棄とみなす。
- 13) 試験判定は、学内の取り決めに従い厳正に行う。
- 14) M4 の共用試験（CBT・OSCE）は、全国医科大学が参加して実施される。臨床実習で必修となる知識（基礎医学・臨床医学等）及び技能・態度を問うもので、臨床実習参加の能力を担保することを目的としている。共用試験が不合格の者は臨床実習の参加・進級を許可しない。
M6 の共用試験（臨床実習後 OSCE）は、卒業要件のひとつとして実施する。
- 15) 試験で不正行為を行ったものは、教育要項掲載の「各学年の進級判定基準 5. 試験中の不正行為に対する処置について」の通り対処する。

5. 試験中の不正行為に対する処置について

- ① 試験中試験監督者が、学生の不正行為を発見して、その事実を確認したときは、その学生を試験場外に退出させる。
- ② 試験で不正行為を行った学生に対しては、理由の如何を問わず、学則第 63 条および第 64 条に則り、停学の懲戒処分とする。
 - i. 停学期間は 1 か月とする。
 - ii. 直接的に不正行為を行っていなくとも、不正行為に加担した場合にも原則として停学の処分を科す。
 - iii. 当該授業科目の成績を 0 点とする。
- ③ 試験終了後においても、当該科目担当者が不正行為があったと判断し、その事実を確認したときは、同様の処置を検討する。

- 16) 再試験を受験する場合は、「補助試験・再試験 受験願/追実習受講願」を記載し、券売機にて受験料・受講料を支払って申請する。再試験・補助試験の受験日当日に、領収書（兼受験票/受講票）を持参していない者の受験は認めない。この場合、当該科目を不合格とする。

6. マナー・接遇・プロフェッショナリズムについて

- 1) 大学キャンパス・病院と住宅等の周辺の地域との間は、ボーダーレスである。
 - ・病院内を通学等で通行することは、慎むこと。
 - ・地域住民へ配慮をすること（クラブ活動等も含めて）
- 2) 服装・態度で患者・その家族や付添、周辺住民に不快感を与えないようにする。
- 3) 医師・研究医・学生・職員等職種間の連携を大切にし、挨拶等マナーに注意をする（例：同僚や教員・職員にも爽やかに挨拶をしよう）。特に、患者や付添家族に対しては医療人のひとりとして暖かい気持ちをもって接する。患者や家族から聞かれたことでわからないことはそのままにしないで、速やかに近くの教職員へ橋渡しをする。
- 4) 医学生としての自覚を日常生活から強く意識をし、他者の立場に立って行動をすることを心がける。また、常に自己を振り返り法令の順守を徹底すること。医学生としての高い倫理観を持ち続け、マナーを守るという姿勢が将来の医師としてのキャリアの基礎となる。
- 5) 進級判定は進級判定会議・教授会等において厳正に審議される。進級判定基準に基づいて、M1 から M6 まで厳しく判定するので、下級生（特にM1学生）に対して安易に進級ができるような誤ったアドバイスをすることは慎むこと。

7. 事故・医療安全・個人情報漏洩などの防止

- 1) 安全を常に念頭に置いた学習、部活、日常生活に努める。
- 2) 緊急時の連絡網を常に携帯のこと。
- 3) 医療関連だけでなく個人情報の扱いにはくれぐれも注意をする。 院内外の施設で知りえた情報は個人情報を含むことが多い。USBメモリーの扱い、実習先での書類や個人情報の守秘義務を厳守する。 原則として、大学や院外への持ち出しは禁止されている。
- 4) 各年度始めのオリエンテーション時に、患者等に関する個人情報（毎年すべての学年）と諸君の授業評価に関連した資料の取り扱いについては書類（誓約書・同意書）に署名をして教務課に提出すること。
- 5) 個人情報（患者だけでなく、学生の個人の情報も含まれる）や病院・実習施設の情報の漏洩を発見した場合（疑われた場合も含む）には直ちに、事務室へ緊急連絡のこと（例：患者情報が漏出した場合には、医療安全対策室より適切な対応が指導される）。
- 6) 種々の情報の扱いにはくれぐれも注意し、特に不特定の人が閲覧可能なインターネット等のアクセスやソーシャルメディア（SNS）については、個人や大学等に迷惑とならないように慎重であること。
- 7) 不明なことがあれば事務室に連絡、相談のこと。

8. 災害などの緊急時における行動について

- 1) 自分自身の安全確保
- 2) 組織的な行動をとる（施設内の指示に従う）
- 3) 周りの人の安全確保と救助（ただし、2次被害の回避）
- 4) 連絡・報告・相談

① 大学、家族、実習施設等へ自分自身の状況を連絡

② 移動の際は安全第一とし（安全が未確認の場合は、無理して移動しない）、その際は連絡のこと（難しい場合は、出発場所、目的地、中継点（途中）等のどこかに情報を残す）

5) 大学（本郷・お茶の水キャンパス・附属病院）には災害時の備蓄等の準備がある。無理して移動しない

6) 連絡先を携帯のこと

① 教務課：（直通）03-5802-1019／（大代表）03-3813-3111（内線）3221

② 学生課：（直通）03-5802-1021／（大代表）03-3813-3111（内線）3222

③ E-mail kyomu@juntendo.ac.jp、gakusei@juntendo.ac.jp

9. 医師免許面書申請の留意点（別資料を熟読のこと）

10. その他

その他の事例については、カリキュラム委員会・教務委員会等で協議し、医学部長が決定する。

以 上

令和3年4月1日

カリキュラム委員会
教務委員会
学生部委員会

順天堂大学
医学部長 服部 信孝 殿

個人情報保護に関する誓約書

私は、順天堂大学医学部の学生として、順天堂大学学則における患者情報及び個人情報保護に関する諸規程を遵守します。

また、患者に関する情報および大学・病院関係者の個人情報を在学中はもちろん、卒業後も第三者に故意または過失によって漏洩したり、無断で使用したり、持ち出したりしないことを誓約いたします。

2021年 月 日

学 年： 1. 2. 3. 4. **5.** 6

学生番号： 21*****

署 名： 順天太郎

注1)この「誓約書」は、新学期オリエンテーション時に回収します。
注2)内容をよく読み、記入例の様に、所定の欄(「学年」「学生番号」「氏名」)を記入すること。

(提出用)

順天堂大学
医学部長 服部 信孝 殿

個人情報保護に関する誓約書

私は、順天堂大学医学部の学生として、順天堂大学学則における患者情報及び個人情報保護に関する諸規程を遵守します。

また、患者に関する情報および大学・病院関係者の個人情報を在学中はもちろん、卒業後も第三者に故意または過失によって漏洩したり、無断で使用したり、持ち出したりしないことを誓約いたします。

2021年 月 日

学 年： 1. 2. 3. 4. 5. 6

学生番号： _____

署 名： _____

(注意事項・記載例)

順天堂大学

医学部長 服部 信孝 殿

個人情報利用に関する同意書

私の学業成績に関する情報を、医学教育の質の向上、教育研究の目的のため
使用することに同意します。

2021年 月 日

学 年： 1. 2. 3. 4. 5. 6

学生番号： 21*****

署 名： 順 天 太 郎

注1)この「同意書」は、新学期オリエンテーション時に回収します。
注2)内容をよく読み、記入例の様に、所定の欄(「学年」「学生番号」「氏名」)を記入すること。

履歴書

年 月 日現在

ふりがな		印
氏名		
生年月日	年 月 日生 (満 歳)	男・女
携帯電話番号	E-MAIL	
ふりがな		電話 ()
現住所 〒 -		-
		FAX ()
		-
ふりがな		電話 ()
連絡先〒 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)		-
		FAX ()
		-

写 真
(4cm×3cm)
写真の裏面に
氏名を記入

年	月	学歴・職歴 (※学歴は高校入学から記入)

(自己紹介／志望の理由 等)

2021年度 M2～M6 ナンバリング

【医学部2年次】

ナンバリング説明		カリキュラム名称等		
基礎医学	INBM 201	INBM : Integrative Basic Medicine	ZoneA	組織学(各論)/神経解剖学
	INBM 202		ZoneB	生化学/発生/症例検討
	INBM 203		ZoneC	動物生理学/植物生理学/薬理学/症例検討
	INBM 204		ZoneD	感染・免疫/症例検討
ANA 101	ANA:Anatomy	Unit1	解剖学	
体験実習等	PDBS 101	PDBS : Patient-Doctor & Basic Skills	基本手技	
	PDBS 110		救急医学実習	
	PDBS 120		医療安全から見た医療者のプロフェッショナリズム	
	PDBS 130		医療体験実習	
PFR 101	PFR : Preparation For Research	医学研究 I		
PDBS 010	PDBS : Patient-Doctor & Basic Skills	OSCE運営補助		
語学	ENG 201	ENG : English	English	English for Medicine I

【医学部3年次】

ナンバリング説明		カリキュラム名称等		
基礎医学	SMGH 101	SMGH : Social Medicine & Global Health	ZoneE	社会医学序論/疫学・統計学
	INBM 207	INBM : Integrative Basic Medicine	ZoneF	病理・病態/症例検討
	IRM 201	IRM : Introdtion to Research Medicine	基礎ゼミナール	
臨床医学	INCM 301	INCM : Integrative Clinical Medicine	Group1	消化器・外科一般
	INCM 303		Group2	心臓・血管・呼吸・胸郭・縦隔
	INCM 305		Group3 (旧:Group4)	腎・生殖・泌尿器
	INCM 306		Group4 (旧:Group5)	脳神経・精神・心身・老年医学
	INCM 309		Group5 (旧:Group6)	感覚器・運動
INCM 302	Group6 (旧:Group7)	内分泌・代謝・栄養・アレルギー・膠原病・免疫・血液		
体験実習等	PDBS 210	PDBS : Patient-Doctor & Basic Skills	医療面接実習	
	PDBS 220		診察技法	
	PDBS 201		基本手技	
	PDBS 230		医療体験実習	
語学	ENG 301	ENG : English	English	English for Medicine II

【医学部4年次】

ナンバリング説明		カリキュラム名称等		
臨床医学	INCM 311	INCM : Integrative Clinical Medicine	Group7 (旧:Group3)	小児・周産期
	INCM 312		Group8	皮膚・頭頸部・感染症・中毒・災害・漢方
	INCM 300		Group9 (旧:GroupZERO)	臨床医学総論(症候論/臨床疫学・EBM)/ 感染症・感染制御/外科/救急・災害/腫瘍学・緩和医療/ 放射線/病理/臨床薬理/社会医学/倫理・医療安全/輸血/ /医療面接/AI)
行動科学・ 社会医学	SMGH 102	SMGH : Social Medicine & Global Health	行動科学Ⅱ・社会医学	
臨床実習	PDBS 310	PDBS : Patient-Doctor & Basic Skills	臨床実習前トレーニング	
	CBM 400番台	CBM: Clinical Bedside Medicine	M4 臨床コア実習	
語学	ENG 401	ENG : English	English	Clinical Skills for International Medicine

【医学部5年次】

ナンバリング説明		カリキュラム名称等		
臨床実習	CBM 500番台	CBM: Clinical Bedside Medicine	M5 臨床コア実習	
	CBM 600番台	CBM: Clinical Bedside Medicine	M5 臨床実習	

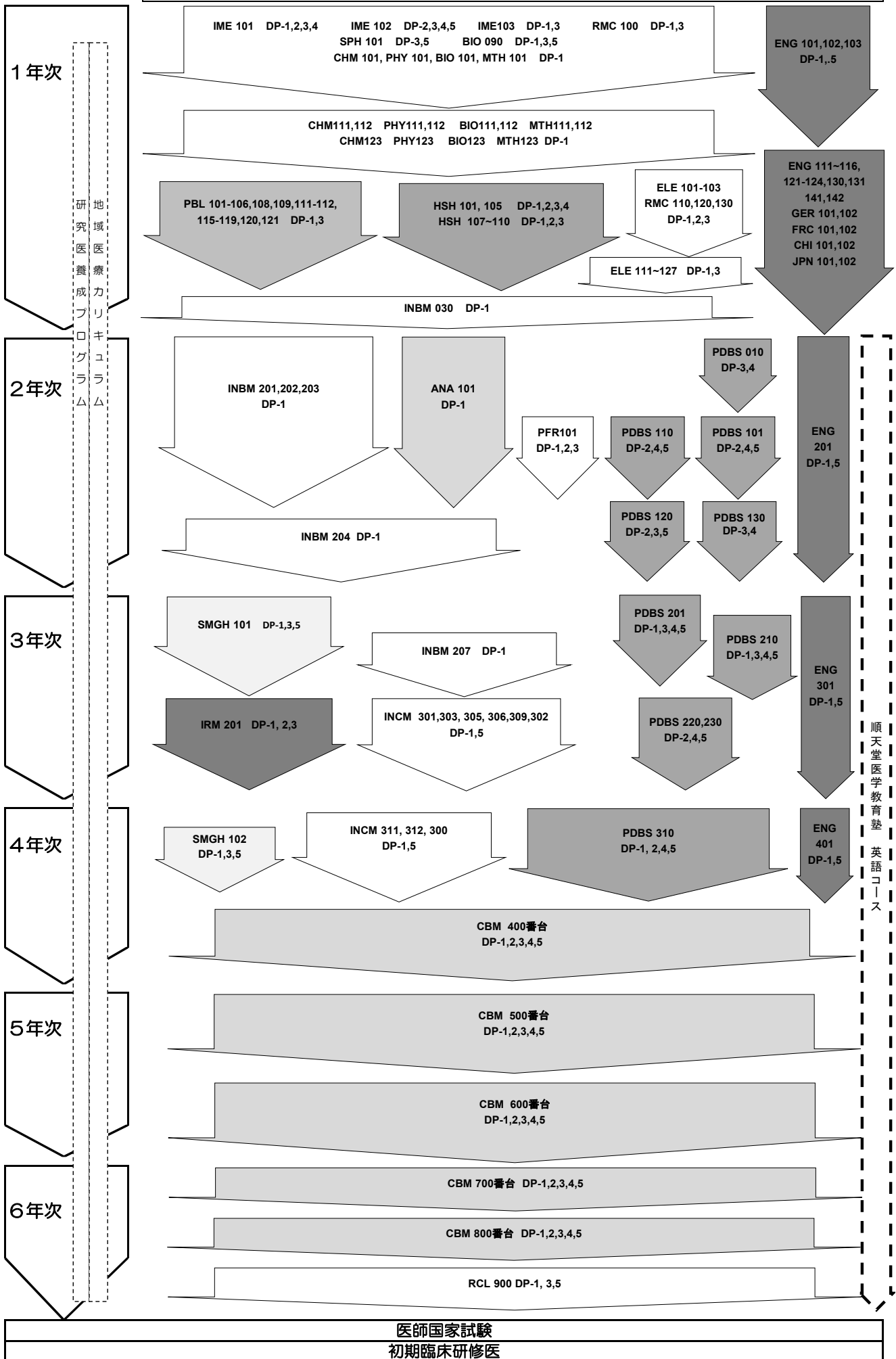
【医学部6年次】

ナンバリング説明		カリキュラム名称等		
臨床実習	CBM 700番台	CBM: Clinical Bedside Medicine	M6 臨床実習	
	CBM 800番台	CBM: Clinical Bedside Medicine	学生インターンシップ実習(選択コース)	
必修講義	RCL 900	RCL: Required Clinical Lecture Series	必修コース	

医学部ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5
	知識・理解	思考・判断	興味・関心	態度	技能
科学的根拠に基づいた医学・医療を行うための体系的な知識、確実な技術・技能及び適正な態度が身に付いている。	○			○	○
常に進歩する医学・医療を生涯にわたってアクティブに自学自習する不断前進の態度・習慣が身に付いている。			○	○	
常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・医学者として他を思いやり、慈しむ心(学是「仁」)が涵養されている。		○			
チーム医療・研究を円滑に遂行できる能力と習慣が身に付いている。					○
グローバル化する国際社会における諸問題に多面的な視点から対処し、解決できる能力と未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養が身に付いている。	○				○

医学部カリキュラムマップ (2021年度)

DP-1=知識・理解 DP-2=思考・判断 DP-3=興味・関心 DP-4=態度 DP-5=技能



医学部カリキュラム概略図（2021年度）

[前期]

学年 / 月	4月	5	6	7	8月
1年次	入学式・入学式 オリエンテーション TOEFL フレッシュマンズキャンパス	必修科目 医療プロフェッショナリズム入門 医療入門 医学研究入門Ⅰ Practical English for TOEFL Ⅰ Practical English for TOEFL Ⅱ TOEFL・IELTS演習 スポーツと健康 ライフサイエンスのための化学 人体物理学 細胞生物学 統計解析への数学	早期体験実習 病院見学	医療プロフェッショナリズム入門 医療入門 医学研究入門Ⅰ Practical English for TOEFL Ⅰ Practical English for TOEFL Ⅱ TOEFL・IELTS演習 スポーツと健康 ライフサイエンスのための化学 人体物理学 細胞生物学 統計解析への数学	前期試験週間 夏季休暇
2年次	新学期オリエンテーション	基礎医学 Zone A 組織学(各論) [実習]組織学		Zone B 生化学/発生 [実習]生化学・分子生物学	
		Zone A 前期試験		Zone B 後期・実習試験	
3年次	新学期オリエンテーション	基礎医学 Zone E 社会医学序論/疫学・統計学 [実習]疫学・統計学		基礎ゼミナール	
		Zone E 総合試験		Zone F 総合試験	
4年次	新学期オリエンテーション	臨床医学 Group7 (IBGroup3) 小児・周産期	臨床医学 Group8 皮膚・頭頸部・感染症・ 中毒・災害・漢方	行動科学Ⅱ 社会医学 [実習]行動科学Ⅱ社会医学/法医学	Group9 (IBGroup Zero) 臨床医学総論(症候論(臨床疫学・EBM) / 感染症・感染制御/外科/救急・災害/ 腫瘍学・緩和医療/放射線/病理/臨床薬理/ 社会医学/倫理・医療安全/輸血/医療面接/AI)
		G7 総合試験	G8 総合試験	G9 総合試験	G9 総合試験
5年次	新学期オリエンテーション	M5 臨床コア実習			M5 臨床実習
		(ローテーション⑥)	(ローテーション⑦)	(ローテーション⑧)	M4,M5臨床コア実習でローテーションしていない診療科を1年間かけてローテーションする。
6年次	新学期オリエンテーション	M6 臨床実習	学生インターンシップ実習 (選択コース)		必修コース
		臨床実習後期試験	期間 (第1クール) (第2クール) (第3クール) (第4クール)	総合試験	
		学内 学外	臨床科での診療参加型実習		夏季休暇
		海外	海外臨床実習・報告会		

初期臨床研修医
大学院医学研究科

(医学部附属病院) 順天堂医院, 静岡病院, 浦安病院, 練馬病院 / (その他)

臨床実習後期
再試験

[後期]

9月	10	11	12	1月	2	3月
8月	早期体験実習 看護実習 PBL	医療プロフェッショナルズ入門	医療プロ	医療プロ	追・再試験期間 後期試験週間	基礎医学入門 組織細胞生物学 [実習]組織学
		行動科学	行動科学	行動科学		
		Practical English for TOEFL I	TOEFL I	TOEFL I		
		Practical English for TOEFL II	TOEFL II	TOEFL II		
		TOEFL・IELTS演習	TOEFL・IELTS演習	TOEFL・IELTS演習		
		スポーツと健康	スポーツと健康	スポーツと健康		
		ライフサイエンスのための化学	ライフサイエンスのための化学	ライフサイエンスのための化学		
		人体物理学	人体物理学	人体物理学		
		細胞生物学	細胞生物学	細胞生物学		
		統計解析への数学	統計解析への数学	統計解析への数学		
	選択必修科目	自然科学総合実習 (化学/物理/生物/数学)	自然科学総合実習	自然科学総合実習		
	選択科目	自然科学系、語学系、人文社会学系、自由選択科目	選択科目	選択科目		

PBL (Problem Based Learning) : 水と生命/健康を支える科学/バイオマテリアルと医療/法則と方程式/プログラミングとアルゴリズム/素粒子の $\alpha \beta \gamma$ /医療の思想と倫理/
 Medicine from a Global Perspective/ ことばの力, the power of words/What Does a Test Measure ?/Listening Skills: Development and Assessment/
 統計に基づいた科学的実証の実際/医事ニュースを読み解く統計学/生物の多様性/錯覚錯視の原理と応用/Can we trust diet studies?

Zone B (生化学) 総合試験	Zone C 動物生理学/ 植物生理学/薬理学			Zone D 総合試験	医療体験実習
[実習]生化学・分子生物学	Zone C1 試験	Zone C2 試験	[実習]生薬・薬理学	Zone C 総合試験	Zone D 総合試験
Zone B (共生) 総合 再試験	基礎医学 Unit 1 解剖学 [実習]人体解剖			Unit 1 総合試験	
	English			English	Zone D 総合 再試験
(体験実習) 医学研究 I / OSCE運営補助 / 救急医学実習 / 医療安全から見た医療者のプロフェッショナリズム				基礎医学研究医選択コース	
基本手技			基本手技 試験	基本手技 再試験	進骨 返還式

臨床医学Group 1 消化器・外科一般	Group 2 心臓・血管・呼吸 ・胸郭・縦隔	Group 3 (IBGroup 4) 腎・生殖・泌尿	医療体験実習	Group 4 (IBGroup 5) 脳神経・精神・ 心身・老年医学	Group 5 (IBGroup 6) 感覚器・運動	Group 6 (IBGroup 7) 内分泌・代謝・栄養・ ホルモン・膠原病・免疫・ 血液
G1 総合試験	G2 総合試験	G3 総合試験	医療 面接 実習	G4 総合試験	G5 総合試験	G6 総合試験
診察技法	診察技法 G1 総合再試験	診察技法 G2 総合再試験	G3 総合再試験	G4 総合 再試験	診察技法 G5 総合再試験	診察技法 G6 総合再試験

臨床実習前 トレーニング	M4 臨床コア実習			M4 臨床コア実習
[実習] 医療面接 臨床実習 身体診察技法 基本手技 臨床検査 死に診察 電子カルテの使いい やさしい日本語	CBT 追再試	(ローテーション①)	(ローテーション②)	(ローテーション③)
臨床実習前 総合二 試験 OSCE 追再試	1. 内科系 : 循環器, 消化器, 呼吸器 2. 精神医学 (M5で実習を行う) 3. 神経学 4. 小児科			(ローテーション④)
	5. 外科系 : 上部・下部消化管, 肝胆脾, 乳腺・内分泌, 心臓血管外科学, 呼吸器外科, 泌尿器外科			(ローテーション⑤)
	6. 産婦人科 7. 救急・災害医学 8. 附属病院 : 静岡, 浦安, 越谷, 高齢者, 練馬			実習 コア 試験
	臨床コア 再試験			臨床コア 再試験

M5 臨床実習	M5 臨床実習
(診療科)	BSL 総合 試験
循内, 循外, 呼内, 腎内, 膠内, 血内, 代内, 精神, 神経, 小児, 上部, 下部, 肝・胆・脾, 泌尿器, 乳腺, 心外, 呼外, 児外, 脳外, 整外, 皮膚, 形成, 泌尿, 眼科, 耳鼻, 放射, 産婦, 麻酔A/B, 臨床, 総合・救急, 輸血, 腫瘍, 緩和, リハビリ, 地域	
選択実習, 海外実習	選択実習, 海外実習
海外実習(江ノ子)	BSL 総合 再試験

卒業試験期間				卒業判定	自己学習期間 (学習支援)	自己学習期間 (学習支援)	医師国家試験	卒業証書授与式
卒業試験1 : 循内/上部/下部/肝胆脾/泌尿器/乳腺	卒業試験5 : 皮膚/眼/耳鼻/整形/形成	Post clinical OSCE	卒業補助 試験A					
卒業試験2 : 精神/神経/脳外/リハ	卒業試験6 : 腎内/泌尿/代内/膠原病	Post clinical OSCE	卒業補助 試験B	Post clinical OSCE				
卒業試験3 : 循内/呼内/心外/呼外	卒業試験7 : 小児/児外/産婦人科		卒業補助 試験C					
卒業試験4 : 血液/腫瘍内科/臨床検査/人体病理/ 救急A/B/緩和	卒業試験8 : 総合診療/放射/公衆衛生/衛生/法医/救急		卒業補助 試験D					

学年	カリキュラム名称等		オーガナイザー		副オーガナイザー	
M1	基礎医学入門	組織細胞生物学	神経生物学・形態学講座	小池 正人		
M2	Zone A	組織学(各論)/神経解剖学	神経生物学・形態学講座	小池 正人	神経生物学・形態学講座	日置 寛之
	Zone B	生化学/発生	生化学第一講座 生化学第二講座	横溝 岳彦 洲崎 悦生	生化学第二講座	染谷 明正
	Zone C	動物生理学/植物生理学/薬理学	生理学第一講座 生理学第二講座 薬理学講座	小西 清貴 小松 雅明 櫻井 隆	生理学第一講座 生理学第二講座 生理学第二講座 薬理学講座	長田 貴宏 渡邊 マキノ 一村 義信 村山 尚
	Zone D	感染・免疫	微生物学講座 熱帯医学・寄生虫病学講座 免疫学講座	切替 照雄 美田 敏宏 三宅 幸子	微生物学講座 熱帯医学・寄生虫病学講座 免疫学講座	多田 達哉 平井 誠 秋葉 久弥
	Unit 1	解剖学	解剖学・生体構造科学講座	市村 浩一郎	解剖学・生体構造科学講座	工藤 宏幸
	English for Medicine I		一般教育研究室	浅野 恵子		
M3	Zone E	社会医学序論/疫学・統計学	公衆衛生学講座	谷川 武	公衆衛生学講座 衛生学講座	和田 裕雄 黒澤 美智子
	Zone F	病理・病態	人体病理病態学講座	八尾 隆史	人体病理病態学講座 人体病理病態学講座 病理・腫瘍学講座 病理・腫瘍学講座	福村 由紀 林 大久生 折茂 彰 小林 敏之
	基礎ゼミナール		薬理学講座	櫻井 隆		
	English for Medicine II		一般教育研究室	浅野 恵子		
	Group 1	消化器・外科一般	上部消化管外科学	峯 真司	上部消化管外科学	那須 元美
	Group 2	心臓・血管・呼吸・胸郭・縦隔	循環器内科学講座	南野 徹	循環器内科学講座	福島 理文
	Group 3 (旧Group 4)	腎・生殖・泌尿器	泌尿器科学講座	堀江 重郎	泌尿器科学講座	中川 由紀
	Group 4 (旧Group 5)	脳神経・精神・心身・老年医学	神経学講座	服部 信孝	神経学講座	横山 和正
	Group 5 (旧Group 6)	感覚器・運動	整形外科学講座	石島 旨章	整形外科学講座	権田 芳範
	Group 6 (旧Group 7)	内分泌・代謝・栄養・アレルギー・膠原病・免疫・血液	膠原病内科学講座	田村 直人	膠原病内科学講座	松下 雅和

学年	カリキュラム名称等	オーガナイザー		副オーガナイザー	
M4	Group 7 (旧Group 3) 小児・周産期	小児外科学講座	山高 篤行	小児外科学講座	須田 一人
	Group 8 皮膚・頭頸部・感染症・中毒・災害・漢方	皮膚科学講座	池田 志幸	皮膚科学講座	小川 尊資
	Group 9 (旧Group ZERO) 臨床医学総論(症候論(臨床疫学・EBM)/感染症・感染制御/ 外科/救急・災害/腫瘍学・緩和医療/放射線/病理/臨床薬理/ 社会医学/倫理・医療安全/輸血/医療面接/AI)	総合診療科学講座	内藤 俊夫	総合診療科学講座	森 博威
	行動科学Ⅱ・社会医学	公衆衛生学講座	谷川 武	公衆衛生学講座	和田 裕雄
		法医学研究室	齋藤 一之	衛生学講座	北村 文彦
	Clinical Skills for International Medicine	一般教育研究室	浅野 恵子	法医学研究室	中西 宏明
	臨床実習前トレーニング	医学教育研究室	岡田 隆夫	医学教育研究室	富木 裕一
	OSCE(共用試験医学系OSCE)	医学教育研究室	富木 裕一	医学教育研究室	鈴木 勉
M5	M5 臨床コア実習	医学教育研究室	岡田 隆夫	医学教育研究室	鈴木 勉
		CBT	医学教育研究室	岡田 隆夫	医学教育研究室
	M5 臨床実習	教務副委員長		医学教育研究室	富木 裕一
		教務副委員長		医学教育研究室	鈴木 勉
M6	M6 臨床実習	教務副委員長		医学教育研究室	富木 裕一
	学生インターンシップ実習(選択コース) (海外実習担当)	教務委員長		医学教育研究室	富木 裕一
		海外実習支援委員長			
	必修コース	小児科学講座	清水 俊明	小児科学講座	田久保 憲行
	総合試験	教務委員長			
	卒業試験 1・2・3・4・5・6・7・8 ・ 卒業補助試験A・B・C・D	教務委員長			
Post Clinical Clerkship OSCE	医学教育研究室	岡田 隆夫	医学教育研究室	富木 裕一 鈴木 勉	

	書名	編者	出版社	出版年月	ページ数	ISBN	定価	分類	所蔵冊数			電子情報		
									OPAC	本	上		三	
解剖学・生体構造科学講座	指定教科書	① カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版(第4版) <カラー図解 人体の正常構造と機能>	坂井建雄,河原克雅総編集	日本医事新報社	2021.01.	879	9784784931811	¥19,800	QS004/Sak/4ed	所蔵	4			
		1 呼吸器(第4版)	牛木辰男,小林弘祐著	日本医事新報社	2021.02.	96	9784784932405	¥6,000	QS004/Sak/1-4ed	所蔵	2			
		2 循環器(第4版)	大谷修,堀尾善幸著	日本医事新報社	2021.02.	116	9784784932412	¥6,600	QS004/Sak/2-4ed	所蔵	2			
		3 消化管(第4版)	河原克雅,佐々木克典著	日本医事新報社	2021.02.	96	9784784932429	¥6,000	QS004/Sak/3-4ed	所蔵	2			
		4 肝・胆・膵(第4版)	泉井亮 [ほか] 著	日本医事新報社	2021.02.	84	9784784932436	¥6,600	QS004/Sak/4-4ed	所蔵	2			
		5 腎・泌尿器(第4版)	坂井建雄,河原克雅著	日本医事新報社	2021.02.	100	9784784932443	¥6,600	QS004/Sak/5-4ed	所蔵	2			
		6 生殖器(第4版)	年森清隆,川内博人著	日本医事新報社	2021.02.	88	9784784932450	¥6,600	QS004/Sak/6-4ed	所蔵	2			
		7 血液・免疫・内分泌(第4版)	山本一彦 [ほか] 著	日本医事新報社	2021.02.	112	9784784932467	¥6,200	QS004/Sak/7-4ed	所蔵	2			
		8 神経系(1) 中枢神経系の構造・高次神経機能・運動系(第4版)	河田光博,稲瀬正彦著	日本医事新報社	2021.02.	96	9784784932474	¥6,820	QS004/Sak/8-4ed	所蔵	2			
		9 神経系(2) 末梢神経系の構造・自律神経機能・感覚系(第4版)	河田光博,稲瀬正彦著	日本医事新報社	2021.02.	104	9784784932481	¥6,820	QS004/Sak/9-4ed	所蔵	2			
	10 運動器(第4版)	坂井建雄 [ほか] 著	日本医事新報社	2021.02.	112	9784784932498	¥7,480	QS004/Sak/10-4ed	所蔵	2				
	参考教科書	① プロメテウス:解剖学コアトラス(原者第3版の翻訳)	Anne M. Gilroy, Brian R. MacPherson, Lawrence M. Ross (著); 市村浩一郎, 津井直哉	医学書院	2019.01.	757	9784260035354	¥10,260	QS017/Pro/3ed	所蔵	3			
		② Atlas of Anatomy (3ed)	Anne M. Gilroy, Brian R. MacPherson, Lawrence M. Ross	Thieme	2016.04.	760	9781626232525	¥8,691	QS017/Pro/3ed	所蔵	1			
	参考書	① 臨床のための解剖学(第2版:原者第7版の翻訳)	キース・L・ムーア,アール・F・デイリー,アン・M.R.アガー著;佐藤達夫,坂井建雄監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2016.02.	1,136	9784895928380	¥15,120	QS004/Moo/7ed	所蔵	3	1		
② Clinically Oriented Anatomy (8ed)		Keith L. Moore, Arthur F. Dalley, Anne M. R. Agar.	Wolters Kluwer, Lippincott Williams & Wilkins	2017.09.	1,153	9781496347213	¥11,445	QS004/Moo/8ed	所蔵	1				
神経生物学・形態学講座	指定教科書	① ラングマン人体発生学(第11版:原者第13版の翻訳)	T・W・サドラー著;安田肇生,山田重人訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2016.03.	432	9784895928397	¥9,072	QS604/Lan/11ed	所蔵	3			
		② Langman's Medical Embryology (14ed)	T.W. Sadler	Lippincott Williams & Wilkins	2018.11.	456	9781975114848	¥11,199	QS604/Lan/14ed	所蔵	1			
		③ Ross組織学(原者第7版の翻訳)	Michael H. Ross, Wojciech Pawlina著;内山安男,相磯貞和監訳	南江堂	2019.05.	988	9784524259298	¥9,936	QS504/Ros/7ed	所蔵	3			
	参考教科書	① Histology: a Text and Atlas: with Correlated Cell and Molecular Biology (8ed)	Michael H. Ross, Wojciech Pawlina.	Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins	2018.12.	992	9781975115364	¥10,920	QS504/Ros/8ed	所蔵	1			
		② カラー図解神経解剖学講義ノート	寺島俊雄著	金芳堂	2011.12.	245	9784765315067	¥4,968	WL101/1er	所蔵	4		MARUZEN eBookLibrary	
		③ カラー図解人体発生学講義ノート(第2版)	塩田浩平著	金芳堂	2017.12.	272	9784765317405	¥6,372	QS604/Shi/2ed	所蔵	3		MARUZEN eBookLibrary	
	参考書	① 組織細胞生物学(原者第3版の翻訳)	Abraham L. Kierszenbaum著;内山安男監訳	南江堂	2015.11.	718	9784524269716	¥9,180	QS504/Kie/3ed	所蔵	3			
		② Histology and Cell Biology: an Introduction to Pathology (5ted)	Abraham L. Kierszenbaum, Laura L. Tres	Elsevier Health	2019.07.	824	9780323673211	¥9,280	QS504/Kie/5ed	所蔵	1		ClinicalKey	
		③ 標準組織学:各論(第5版)	藤田尚男,藤田恒夫共著	医学書院	2017.01.	568	9784260024044	¥11,880	QS504/Fuj/5ed	所蔵	3			
		④ 標準組織学:総論(第5版)	藤田尚男,藤田恒夫共著	医学書院	2015.04.	344	9784260015318	¥8,856	QS504/Fuj/5ed	所蔵	3	1	SMART	
		⑤ 入門組織学(改訂第2版)	牛木辰男著	南江堂	2013.03.	382	9784524216178	¥5,400	QS504/Ush/2ed	所蔵	2			
		⑥ カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版(第4版) <カラー図解 人体の正常構造と機能>	坂井建雄,河原克雅総編集	日本医事新報社	2021.01.	879	9784784931811	¥19,800	QS004/Sak/4ed	所蔵	4			
		⑦ 脳神経ペディア:「解剖」と「機能」が見える・つながる事典・カラー図解 マーティンカラー 神経解剖学:テキストとアトラス(第4版)	ジョン・H・マーティン著;伊藤和夫,楳村正憲,大谷修 [ほか] 訳	西村書店	2015.11.	512	97848990134601	¥6,912	WL101/Mar/4ed	所蔵	3		MARUZEN eBookLibrary	
	生理学第一講座	指定教科書	① Neuroanatomy: text and atlas (4ed)	John H. Martin	McGraw-Hill	2012.05.	544	9780071603966	¥10,749	WL101/Mar/4ed	所蔵	1		
② 臨床神経解剖学(原者第6版の翻訳)			M.J.T. Fitz Gerald, Jean Folari-Curran著;井出千栄,杉本正樹,黒田正男訳	医歯薬出版	2013.08.	444	9784263731512	¥10,368	WL101/Fit/6ed	所蔵	4			
参考教科書		① Fitzgerald's Clinical Neuroanatomy & Neuroscience (7ed)	Estomih Mtui	Elsevier Saunders	2015.12.	432	9780202058325	¥9,231	WL101/Fit/7ed	所蔵	1		ClinicalKey	
		② コスタンゾ明解生理学(原者第6版の翻訳)	Linda S. Costanzo著	エルゼビア・ジャパン	2019.09.	584	9784860342364	¥6,930	QT104/Cos/6ed	所蔵	2			
参考書		① Physiology (6ed)	Linda S. Costanzo	Elsevier	2017.05.	516	9780323478816	¥7,059	QT104/Cos/6ed	所蔵	1		ClinicalKey	
		② Neuroscience: Exploring the Brain (4ed)	Mark F. Bear, Barry W. Connors, Michael A. Paradiso.	Lippincott Williams & Wilkins	2015.03.	928	9780781778176	¥17,747	WL300/Bea/4ed	所蔵	1			
参考教科書		① ベア・コナーズ パラディオン神経科学:脳の探求(改訂版)	マーク・F・ベア/バリー・W・コナーズ/マイケル・A・パラディオン 著 藤井 聡 監訳 山崎 良彦/後藤 寛/加藤安可 訳	西村書店	2021.01.	760	9784867060186	¥8,690	WL300/Bea/Rev	所蔵	3			
		② 本間研一 [ほか] 編集	医学書院	2019.03.	1,202	9784260034296	¥12,960	QT104/Hyo/9ed	所蔵	3		SMART		
参考書		① 脳・神経(第2版)〈病気がみえる:7〉	医療情報科学研究所編	Medic Media	2017.11.	624	9784896326864	¥4,104	WB100/Byo/7-2ed	所蔵	3	3		
		② イラストレクチャー 認知神経科学:心理学と脳科学が解くところの仕組み	村上郁也編	オーム社	2010.02.	302	9784274208225	¥3,672	WL300/Mur	所蔵	2			
生理学第二講座		指定教科書	① 生理学テキスト(第8版)	大地隆男著	文光堂	2017.02.	580	9784830602290	¥5,400	QT104/Och/8ed	所蔵	3	1	MARUZEN eBookLibrary
			② Physiology (2ed) <Lippincott's Illustrated Reviews>	Robin R. Preston, Thad E. Wilson	Wolters Kluwer Health / Lippincott Williams & Wilkins	2019.01.	544	9781496385826	¥9,907	QT104/Pre/2ed	所蔵	1		
		参考教科書	① 標準生理学(第9版)<Standard Textbook>	本間研一 [ほか] 編集	医学書院	2019.03.	1,202	9784260034296	¥12,960	QT104/Hyo/9ed	所蔵	3		SMART
			② イラストレイテッド生理学<イラストレイテッド生理学>	Robin R.Preston, Thad E.Wilson [著];安西尚彦[ほか]訳	丸善	2014.12.	629	9784621088005	¥8,424	QT104/Pre	所蔵	2	1	
生化学第一講座・第二講座	指定教科書	① マークス臨床生化学(原者第5版の翻訳)	Michael Lieberman, Alisa Peet [著];横溝岳彦訳	医学書院	2020.09.	639	9784260041393	¥9,350	QU004/Mar/5ed	所蔵	4			
		② Marks' basic medical biochemistry: a clinical approach (5ed)	Michael Lieberman, Alisa Peet	Wolters Kluwer	2017.07.	1,051	9781496387721	¥10,590	QU400/Mar/5ed	所蔵	1			
	参考教科書	① 集中講義生化学:カラーイラストで学ぶ(改訂2版)	鈴木敬一 [ほか] 編著	メジカルビュー社	2017.04.	410	9784758300988	¥6,380	QU004/Suz/2ed	所蔵	2			
		② イラストレイテッドハーバー生化学(原者第30版の翻訳)	R.K. Murray [ほか] 著;飯塚哲太郎 [ほか] 訳	丸善	2016.12.	958	9784621300978	¥7,900	QU004/Har/30ed	所蔵	3	1		
	参考書	① Harper's Illustrated Biochemistry (A Lange Medical Book) <31ed>	Rodwell Victor ... [et al.]	McGraw-Hill Medical	2018.06.	789	9781259837937	¥14,893	QU004/Har/31ed	所蔵	1			
		② 細胞の分子生物学(第6版)	Bruce Alberts [ほか] 著;青山聖子 [ほか] 翻訳	ニュートンプレス	2017.10.	1,548	9784315520620	¥22,300	QH581.2/Alb/6ed	所蔵	2			
		③ Molecular Biology of the Cell (6ed)	Bruce Alberts ... [et al.]	Garland Science	2014.12.	1,392	9780815344322	¥28,350	QH581.2/Alb/6ed	所蔵	1			
参考書	① 生化学実践問題:基礎と臨床をつなぐ420題	Michael A. Lieberman, Rick Rice著;横溝岳彦,九州大学医学部生化学ワークショップグループ 訳	南江堂	2011.08.	214	9784524635922	¥3,456	QU004/Lie	所蔵	2				
	② Lippincott's Illustrated Q&A Review of Biochemistry <Lippincott's Illustrated Reviews>	Michael A. Lieberman, Rick Rice	Lippincott Williams & Wilkins	2009.11.	204	9781605473024	¥6,653	QU004/Lie	所蔵	1				
	③ わかりやすい人体の仕組み:主な疾患へのアプローチ	菊川忠裕,長岡功,安倍千之編集	日本医学館	2007.04.	488	9784890440108	¥6,480	QT104/Kik	所蔵	3				
薬理学講座	指定教科書	① New薬理学(改訂第7版)	田中千賀子,加藤隆一編集	南江堂	2017.04.	704	9784524261758	¥9,504	QV004/New/7ed	所蔵	3			
		② Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics (13ed)	Lawrence L. Brunton; associate editors: Bruce A. Chabner, Boris C. Krollman.	McGraw-Hill	2017.12.	1,808	9781259584732	¥27,794	QV004/Go/13ed	所蔵	1			
	参考教科書	① 薬理書:薬物治療の基礎と臨床:上巻(第12版)	グッドマン,ギルマン [編];高折修二 [ほか] 監訳	廣川書店	2013.04.	1,490	9784567498005	¥21,060	QV004/Go/1-12ed	所蔵	2			
		② 薬理書:薬物治療の基礎と臨床:下巻(第12版)	グッドマン,ギルマン [編];高折修二 [ほか] 監訳	廣川書店	2013.04.	1,220	9784567498012	¥21,060	QV004/Go/2-12ed	所蔵	2			
参考書	① Principles of Pharmacology: the Pathophysiologic Basis of Drug Therapy (4ed)	David E. Golan, editor in chief; Armen H. Tashjian Jr	Wolters Kluwer Health	2016.03.	1,020	9781451191004	¥14,051	QV038/Go/4ed	所蔵	1				

	書名	編者	出版社	出版年月	ページ数	ISBN	定価	分類	所蔵冊数			電子情報	
									OPAC	本	電子		
病理・腫瘍学講座	指定教科書	① ワインバーグ がんの生物学 (原書第2版の翻訳) The Biology of Cancer (2ed)	Robert A. Weinberg	南江堂	2017.06	960	9784524265817	¥15,120	QZ202/Wei/2ed	所蔵	3		
	参考教科書	① 細胞の分子生物学 (第6版) Molecular Biology of the Cell (6ed)	Bruce Alberts [ほか] 著; 青山聖子 [ほか] 翻訳 Bruce Alberts ... [et al.]	ニュートンプレス Garland Science	2017.10	1,548	9784315520620	¥22,300	QH581.2/Alb/6ed	所蔵	2	1	
	参考書	① Janeway's Immunobiology (原書第9版の翻訳) Janeway's Immunobiology (9ed)	Kenneth Murphy, Paul Travers, Mark Walport 著 Kenneth Murphy, with acknowledgment to Charles A. Janeway Jr., Paul Travers, Mark Walport	南江堂 Garland Science	2014.12	1,392	9780815344322	¥28,350	QH581.2/Alb/6ed	所蔵	2		
人体病理病態学講座	指定教科書	① 標準病理学 (第6版)	北川昌伸, 仁木利郎編纂	医学書院	2019.03	848	9784260036597	¥12,100	QZ004/Hyo/6ed	所蔵	3	1	SMART
	参考書	① 組織病理学 (第6版)	小田義直 [ほか] 編纂; 新井信隆 [ほか] 執筆	文光堂	2015.10	543	9784830604768	¥27,000	QZ017/Iji/6ed	所蔵	3		MARUZEN eBookLibrary
微生物学講座	指定教科書	① 標準微生物学 (第13版) <Standard Textbook>	中込治, 神谷茂編	医学書院	2018.03	706	9784260034562	¥7,560	QW004/Hyo/13ed	所蔵	3		
	参考教科書	② Nester's Microbiology: A Human Perspective (9ed)	Denise G. Anderson	McGraw-Hill Science Engineering	2018.01	896	9781260092219	¥9,832	QW004/Nes/9ed	所蔵	1		
	参考教科書	① Harrison's Principles of Internal Medicine (20ed)	Dennis L. Kasper ... [et al.]	McGraw-Hill Medical	2018.08	3,528	9781259644030	¥29,820	WB115/Har/20ed	所蔵	1		Harrison's Online
熱帯医学・寄生虫病学講座	指定教科書	① 図説人体寄生虫学 (改訂9版)	吉田幸雄, 有園直樹著	南山堂	2016.02	314	9784525170295	¥9,720	QX004/Yos/9ed	所蔵	3		
	参考教科書	① Manson's Tropical Diseases (23ed)	Gordon C. Cook, Alimuddin I. Zumla	Saunders/Elsevier	2013.12	1,360	9780702051012	¥34,655	WC680/Man/23ed	所蔵	1		ClinicalKey
	参考書	① Harrison's Principles of Internal Medicine (20ed)	Dennis L. Kasper ... [et al.]	McGraw-Hill Medical	2018.08	3,528	9781259644030	¥29,820	WB115/Har/20ed	所蔵	1		Harrison's Online
免疫学講座	指定教科書	① 基礎免疫学: 免疫システムの機能とその異常 (原書第6版の翻訳) Basic immunology: functions and disorders of the immune system (6ed)	Abul K. Abbas, Andrew H. Lichtman, Shiv Pillai 原著; 松島綱浩, 山田幸宏訳	エルゼビア・ジャパン	2020.08	326	9784860346614	¥6,930	QW504/Abb/6ed	所蔵	3		
	参考教科書	① Janeway's Immunobiology (原書第9版の翻訳) Janeway's Immunobiology (9ed)	Kenneth Murphy, Paul Travers, Mark Walport 著 Kenneth Murphy, with acknowledgment to Charles A. Janeway Jr., Paul Travers, Mark Walport	南江堂 Garland Science	2019.04	910	9784524251155	¥9,180	QW504/Jan/9ed	所蔵	2		ClinicalKey
	参考書	① エッセンシャル免疫学 (第3版: 原書第4版の翻訳) Immune System (4ed)	ピーター・バーラム 著; 笹月健彦監訳 Peter Parham	メディカル・サイエンス・インターナショナル Taylor & Francis Inc	2016.08	577	9784895928649	¥6,805	QW504/Par/3ed	所蔵	3		
衛生学講座	指定教科書	① はじめて学ぶやさしい疫学: 日本疫学会標準テキスト (改訂第3版) Current Occupational & Environmental Medicine (5ed) <A Lange medical book>	日本疫学会監修 Joseph LaDou	南江堂 McGraw-Hill	2018.09	181	9784524243920	¥2,200	WA105/Tan/3ed	所蔵	1		
	参考教科書	② EBM: 医学研究・診療の方法論: Evidence-Based Medicine (第2版)	荒記俊一著	サイエンス社	1981.09	285	9784781902432	¥2,700	WA400/Ara	所蔵	1	1	
	参考書	③ 予防医学のストラテジー: 生活習慣病対策と健康増進 (原書第1版の翻訳) Rose's strategy of preventive medicine (New ed)	ジェフリー・ローズ 著; 水嶋春翔 [ほか] 訳 Geoffrey Rose, Kay-Tee Khaw, Michael Marmot	中外医学社 Oxford University Press	2000.03	173	9784498009530	¥3,564	WB102/Agan/2ed	所蔵	2	3	2
公衆衛生学講座	指定教科書	① 臨床疫学: EBM実践のための必須知識 (第2版) Clinical Epidemiology: The Essentials (6ed)	ロバート・H・フレッチャー, スーザン・W・フレッチャー 著; 福井次史監訳 Fletcher, Grant S.	メディカル・サイエンス・インターナショナル Lippincott Williams & Wilkins	2006.10	253	9784895924542	¥5,076	WA105/Fle/2ed	所蔵	2		BooksOvid
	参考書	② ⑤ バイオサイエンスの統計学: 正しく活用するための実践理論 <Handbook of Environmental Health>	市原清志著	南江堂	1990.02	378	9784524220366	¥5,032	WA950/Ich	所蔵	1	1	2
	参考書	⑥ 1 Biological, Chemical, and Physical Agents of Environmentally Related Disease (4ed-New) 2 Pollutant Interactions in Air, Water, and Soil (4ed-New)	Herman Koren, Michael Bisesi	CRC Press	2017.12	824	9780815371304	¥12,806	WA754/Kor/1-4edNew	所蔵	1		
法医学研究室	指定教科書	① 法医学 (改訂3版)	福島弘文編纂	南山堂	2015.01	362	9784525190736	¥5,940	W700/Fuk/3ed	所蔵	3		
	参考教科書	① 死体の視かた (新訂)	渡辺博司, 斎藤一之著	東京法令出版	2010.02	306	9784809012259	¥2,700	W800/Wat/Rev	所蔵	2		
	参考書	① 検死ハンドブック (改訂3版)	高津光洋著	南山堂	2016.03	528	9784525190033	¥9,180	W800/Tak/3ed	所蔵	2		MARUZEN eBookLibrary

	書名	編著者	出版社	出版年月	ページ数	ISBN	定価	分類	所蔵冊数			電子情報			
									OPAC	本	電子				
リハビリテーション医学研究室	指定教科書	① 入門リハビリテーション医学(第3版) Physical Medicine & Rehabilitation Secrets (3ed)	岩谷力 [ほか] 編集 Bryan J. O'Young, Mark A. Young, Steven A. Stiens	医歯薬出版 Mosby/Elsevier	2007.09. 2007.09.	387 748	9784263219317 9781416032052	¥10,800 ¥7,503	WB320/Sei/3ed WB320/Oyo/3ed	所蔵	3	1	1		
		② リハビリテーションシーケレット (原著第2版の翻訳)	フライアン J, オーヤング, マーク A, ヤング, スティーブン A, スティエンズ編 ; 遠島和久, 藤谷順子監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2005.06.	808	9784260138642	¥7,776	WB320/Oyo/2ed	所蔵	1	1	1		
	参考教科書	① 最新リハビリテーション医学(第3版)	安保雅博, 上月正博, 芳賀信彦編集	医歯薬出版	2016.03.	470	9784263217306	¥6,912	WB320/Ish/3ed	所蔵	3				
消化器・低侵襲性外科学研究室	指定教科書	① 新臨床外科学(第4版) Sabiston Textbook of Surgery : the Biological Basis of Modern Surgical Practice (21ed)	川崎誠治 [ほか] 編集 Courtney M. Townsend Jr. ... [et al.]	医学書院 Elsevier Science Health Science	2006.07. 2021.03.	1,268 2,176	9784260009963 9780323640626	¥24,840 ¥22,360	WO100/Shi/4ed WO100/Sab/21ed	所蔵	2	1	1		
		② 標準外科学(第15版) <Standard Textbook>	北野正剛・監	医学書院	2019.02.	712	9784260036306	¥9,180	WO100/Hyo/15ed	所蔵	3			SMART	
	参考教科書	① 外来診療・栄養指導に役立つ胃切除後障害診療ハンドブック	「胃癌術後評価を考える」ワーキンググループ/胃外科・術後障害研究会編	南江堂	2015.07.	169	9784524258970	¥3,780	WI380/Iga	所蔵	3				
		② 胃癌取扱い規約(第15版) 胃癌治療ガイドライン：医師用(2018年1月改訂：第5版)	日本胃癌学会編 日本胃癌学会編	金原出版 金原出版	2017.11. 2018.02.	88 108	9784307203753 9784307203814	¥4,104 ¥1,404	QZ200/Gan/15ed WB320/Nip/2018	所蔵 所蔵	3 3				
臨床薬理学	指定教科書	① ハリソン内科学(第5版：原著第19版の翻訳) Harrison's Principles of Internal Medicine (20ed)	ハリソン [原著]; アンソニー・S.ファウチほか編著 Dennis L. Kasper ... [et al.]	メディカル・サイエンス・インターナショナル McGraw-Hill Medical	2017.03. 2018.08.	3,150 3,528	9784895928731 9781259644030	¥32,184 ¥29,820	WB115/Har/5ed WB115/Har/20ed	所蔵 所蔵	3 1			Harrison's Online	
		② New薬理学(改訂第7版)	田中千賀子, 加藤隆一編集 Laurence L. Brunton ; associate editors, Bruce A. Chabner, Björn C. Knollmann.	南江堂 McGraw-Hill	2017.04. 2017.12.	704 1,808	9784524261758 9781259584732	¥9,504 ¥27,794	QV004/New/7ed QV004/Go/13ed	所蔵 所蔵	3 1				
	参考教科書	③ ヘルシンキ宣言	世界医師会	2013.10.											Link
		① 人は誰でも間違える：より安全な医療システムを目指して	L. コーン, J. コリガン, M. ドナルドソン編 ; 米国医療の質委員会/医学研究所著 ; 医学ジャーナリスト協会訳	日本評論社	2000.11.	273	9784535981751	入手不可	W044/Koh	所蔵			1		
		② ICR臨床研究入門：臨床研究に携わる人のeラーニングサイト	厚生労働省研究班												Link

各学年における試験等の名称・出題範囲一覧

学年	カリキュラム名称等	個別試験の名称	総合試験の名称	総合試験再試験の名称
		出題範囲等	出題範囲等	出題範囲等
M2	Zone A 組織学(各論)/神経解剖学 (実習)組織学実習/脳解剖学実習	Zone A組織学試験、Zone A神経解剖学試験	—	Zone A総合試験再試験
		Zone A脳解剖実習試験 教育要項「Zone A」に記載		
	Zone B 生化学/発生 (実習)生化学・分子生物学実習	—	Zone B総合試験(生化学)、 Zone B総合試験(発生) 教育要項「Zone B」に記載	Zone B総合試験再試験(生化学)、 Zone B総合試験再試験(発生) 教育要項「Zone B」に記載
	Zone C 動物生理学/植物生理学/薬理学 (実習)生理・薬理学実習	Zone C1試験・Zone C2試験	Zone C総合試験	Zone C総合試験再試験
		教育要項「Zone C」に記載	教育要項「Zone C」に記載	教育要項「Zone C」に記載
Zone D 感染・免疫 (実習)微生物学実習/免疫学実習/寄生虫病学実習	—	Zone D総合試験 教育要項「Zone D」に記載	Zone D総合試験再試験 教育要項「Zone D」に記載	
Unit 1 解剖学 (実習)人体解剖実習	Unit 1中間試験 教育要項「Unit 1」に記載	Unit 1総合試験 教育要項「Unit 1」に記載	Unit 1総合試験再試験 教育要項「Unit 1」に記載	

備考 ①基本手技は基本手技試験とその不合格についての基本手技再試験がおこなわれる。

②医療体験実習、医学研究Ⅰ、救急医学実習、医療安全から見た医療者のプロフェッショナルリズム、OSCE運営補助は、それぞれについて、出席票や評価票(態度、身だしなみ、言葉遣い、知識、手技、レポート等の総合評価等)等により評価される。

③Englishのテストを含む評価法について、授業中に説明される。

学年	カリキュラム名称等	個別試験の名称	総合試験の名称	総合試験再試験の名称
		出題範囲等	出題範囲等	出題範囲等
M3	Zone E 社会医学序論/疫学・統計学 (実習)疫学・統計学実習	—	Zone E総合試験	Zone E総合試験再試験
			教育要項「Zone E」に記載	教育要項「Zone E」に記載
	Zone F 病理・病態 (実習)病理学総論実習	—	Zone F総合試験	Zone F総合試験再試験
			教育要項「Zone F」に記載	教育要項「Zone F」に記載
	Group 1 症候論・消化器・外科一般・放射線総論	—	Group 1総合試験	Group 1総合試験再試験
			教育要項「Group 1」に記載	教育要項「Group 1」に記載
	Group 2 心臓・血管・呼吸・胸郭・縦隔	—	Group 2総合試験	Group 2総合試験再試験
			教育要項「Group 2」に記載	教育要項「Group 2」に記載
	Group 3 腎・生殖・泌尿器 (旧Group 4)	—	Group 3総合試験	Group 3総合試験再試験
			教育要項「Group 3」に記載	教育要項「Group 3」に記載
	Group 4 脳神経・精神・心身 (旧Group 5)	—	Group 4総合試験	Group 4総合試験再試験
教育要項「Group 4」に記載			教育要項「Group 4」に記載	
Group 5 感覚器・運動 (旧Group 6)	—	Group 5総合試験	Group 5総合試験再試験	
		教育要項「Group 5」に記載	教育要項「Group 5」に記載	
Group 6 内分泌・代謝・栄養・アレルギー・膠原病・免疫・血液 (旧Group 7)	—	Group 6総合試験 教育要項「Group 6」に記載	Group 6総合試験再試験 教育要項「Group 6」に記載	

備考 ①基本手技は基本手技試験とその不合格についての基本手技再試験がおこなわれる。

②医療体験実習、診察技法、医療面接は、それぞれについて、出席票や評価票(態度、身だしなみ、言葉遣い、知識、手技、レポート等の総合評価等)等により評価される。

③Englishのテストを含む評価法について、授業中に説明される。

学年	カリキュラム名称等	個別試験の名称	総合試験の名称	総合試験再試験の名称
		出題範囲等	出題範囲等	出題範囲等
M4	Group 7 小児・周産期 (旧Group 3)	—	Group 7総合試験 教育要項「Group 7」に記載	Group 7総合試験再試験 教育要項「Group 7」に記載
	Group 8 皮膚・頭頸部・感染症・中毒・災害・漢方	—	Group 8総合試験 教育要項「Group 8」に記載	Group 8総合試験再試験 教育要項「Group 8」に記載
	Group 9 臨床医学総論(症候論(臨床疫学・EBM)/感染症・感染制御/外科 (旧Group ZERO) / 救急・災害/腫瘍学・緩和医療/放射線/病理/臨床薬理/社会 医学/ 倫理・医療安全/輸血/医療面接/A1)	—	Group 9総合試験 教育要項「Group 9」に記載	Group 9総合試験再試験 教育要項「Group 9」に記載
	臨床実習前トレーニング	—	臨床実習前トレーニング試験 臨床実習前トレーニング試験の全ての講義・実習から出題(英語など自己学習分も出題範囲)	臨床実習前トレーニング試験再試験 臨床実習前トレーニング試験の全ての講義・実習から出題(英語など自己学習分も出題範囲)
	OSCE(共用試験医学系OSCE)	—	6ステーション(予定): 医療面接, 頭頸部, 胸部・バイタルサイン, 腹部, 神経, 基本手技	本試験において基準に達しなかった領域について再試験
	CBT	—	医学教育モデル・コア・カリキュラム (A 基本事項, B 医学一般, C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療, D 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療, E 診療の基礎, F 医学・医療と社会)	医学教育モデル・コア・カリキュラム (A 基本事項, B 医学一般, C 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療, D 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療, E 診療の基礎, F 医学・医療と社会)
	M4臨床コア実習	—	M4臨床コア実習試験 M4臨床コア実習でローテーションした診療科・附属病院から出題	M4臨床コア実習試験再試験 M4臨床コア実習でローテーションした診療科・附属病院から出題

備考 ①Englishのテストを含む評価法について、授業中に説明される。

学年	カリキュラム名称等	試験の名称等	出題範囲等
M5	M5臨床コア実習	M5臨床実習前期(コア科)試験	M5臨床コア実習でローテーションした診療科・附属病院から出題
		M5臨床実習前期(コア科)試験 再試験	M5臨床コア実習で学んだ主要疾患, 病態に対する筆記試験を予定
	M5臨床実習	BSL総合試験	医師国家試験禁忌肢関連問題の修正問題を出題
		BSL総合試験 再試験	医師国家試験禁忌肢関連問題の修正問題を出題
M6	M6臨床実習	臨床実習後期試験	M6臨床実習でローテーションした診療科・附属病院から出題
		臨床実習後期試験 再試験	M6臨床実習でローテーションした診療科・附属病院から出題
	学生インターンシップ実習(選択コース)	(なし)	
	必修コース	総合試験	医師国家試験(主に過去3年分)の内容を一部変更・追加などして出題
	卒業試験等	卒業試験1	消化器内科学, 上部消化管外科学, 下部消化管外科学, 肝・胆・膵外科学, 消化器・低侵襲外科, 乳腺腫瘍学
		卒業試験2	精神医学, 神経学, 脳神経外科学, リハビリテーション医学
		卒業試験3	循環器内科学, 呼吸器内科学, 心臓血管外科学, 呼吸器外科学
		卒業試験4	血液学, 臨床検査医学, 病理学, 麻酔科学・ペインクリニック, 腫瘍内科学, 緩和医療学
		卒業試験5	皮膚科学, 眼科学, 耳鼻咽喉科学, 整形外科学, 形成外科学
		卒業試験6	腎臓内科学, 泌尿器科学, 代謝内分泌学, 膠原病内科学
		卒業試験7	小児科学, 小児外科学, 産婦人科学(産科, 婦人科)
		卒業試験8	放射線医学, 総合診療科, 衛生学, 公衆衛生学, 法医学, 救急・災害医学
		卒業補助試験A	卒業試験1・2から出題
		卒業補助試験B	卒業試験3・4から出題
		卒業補助試験C	卒業試験5・6から出題
		卒業補助試験D	卒業試験7・8から出題
		総合試験再試験	医師国家試験(主に過去3年分)の内容を一部変更・追加などして出題
Post Clinical Clerkship OSCE		各ステーション(6st: 予定)での医療面接, 身体診察, 基本手技, 筆記試験を予定	
Post Clinical Clerkship OSCE再試験		本試験において基準に達しなかった領域について再試験	

医の原則・医学と医療の倫理に関する授業一覧

2021年度 医の原則・医学と医療の倫理等に関する内容が含まれるM1～M6授業一覧

学年		担 当	授 業 タ イ ト ル			
M 1	医療プロフェッショナル入門・早期体験実習(病院見学/施設実習)	生理学第二/医学教育 医史学	渡邊 マキノ 澤井 直	オリエンテーション(医師として、人間として)		
		医学教育	奈良 信雄	医療者のプロフェッショナリズム: 国際社会の医療者プロフェッショナリズム		
		情報センター 学術メディアセンター	吉田 剛 城山 泰彦	情報管理と情報リテラシー		
		医史学研究室	澤井 直	医療の歴史		
		学生部長 生理学第二/医学教育 医史学研究室	未定 渡邊 マキノ 澤井 直	医療プロフェッショナリズム～先人に学ぶ～ 医師・医療者になるとは		
		医学教育/呼吸器内科学 生理学第二/医学教育	鈴木 勉 渡邊 マキノ	病院の中で仕事をすること—医師の責務—		
		生理学第二/医学教育 医史学研究室	渡邊 マキノ 澤井 直	コミュニケーションの基本		
		医学教育/微生物学 医学教育/呼吸器内科学 生理学第二/医学教育 医史学研究室	鈴木 勉 渡邊 マキノ 澤井 直 關根 美和	病院見学(本郷 順天堂医院)		
		医学教育/微生物学	關根 美和			
		医療看護学部基礎看護学	寺岡 三左子	看護の役割と機能		
		生理学第二/医学教育 医史学研究室	渡邊 マキノ 澤井 直	病院見学の反省		
		医学教育/微生物学	關根 美和			
		小児科学	細澤 麻里子	子どもの特性と全人的医療		
		昭和大学 医学教育学講座	有馬 牧子	医療者のキャリア形成		
		医学教育/呼吸器内科	鈴木 勉	高齢の患者さんへの対応		
		医療看護学部高齢者看護学	杉山 智子	高齢者の介護について		
		医療看護学部高齢者看護学	島田 広美	要介護高齢者の理解と技術支援		
		リハビリテーション医学	伊澤 奈々	高齢者のリハビリテーション医学		
		総泉病院名誉院長	高野 喜久雄	高齢者医療の現場から		
		医学教育/呼吸器内科学 生理学第二/医学教育 医史学研究室	鈴木 勉 渡邊 マキノ 澤井 直	施設実習		
		医学教育/微生物学	關根 美和			
		解剖学・生体構造科学	市村 浩一郎	人体の形態をどのように学ぶか		
		ライフケアシステム医師	辻 彼南雄	高齢者の在宅医療		
		日本思春期学会幹事 生理学第二/医学教育 医史学研究室	宮崎 豊久 渡邊 マキノ 澤井 直	ネット社会のコミュニケーション概論		
		病院管理学	川崎 志保理	医学生に必要な接遇・マナー		
		医史学 医学教育/微生物学 生理学第二/医学教育	澤井 直 關根 美和 渡邊 マキノ	グループワーク: 医学生～医療者のプロフェッショナリズム		
		医療看護学部	未定			
		生理学第二/医学教育 医史学研究室	渡邊 マキノ 澤井 直	基礎看護学実習		
		医学教育/微生物学 生理学第二/医学教育 医史学研究室	關根 美和 渡邊 マキノ 澤井 直	看護師同行実習		
		医学教育/微生物学	關根 美和			
		M 1	医療入門	医学教育/下部消化管外科学	富木 裕一	バイタルサイン
				微生物学講座	馬場 理	感染症
				総合診療科研究室	内藤 俊夫	医学生から始める感染症への対策
浦安病院 救急診療科	石原 唯史			災害医療		
医学教育/呼吸器内科	鈴木 勉			医療面接		
浦安病院 救急診療科	平野 洋平			応急処置		
スポーツ健康科学部	櫻庭 景植			救急医療に対する初期治療:スポーツ外傷を中心に		
公衆衛生学	遠藤 源樹			公衆衛生学の基礎		
医学教育	武田裕子			家庭医療総論		
神経学	平 健一郎			若年者と高齢者の頭痛とめまい		
熱帯医学・寄生虫病学	美田 敏宏			熱帯医学入門		
皮膚科学	込山 悦子			女性医師というプロフェッション		

学年		担 当		授 業 タ イ ト ル				
M 1	行動科学 I	小児外科学	山高 篤行	外科道に魅せられて				
		スポーツ健康科学部	黄田 常嘉	臨床心理学入門				
		保健看護学部	長沼 淳	身体の哲学				
		スポーツ健康科学部	黄田 常嘉	自殺関連行動				
		国際教養学部	鈴木 美奈子	健康の行動科学				
		スポーツ健康科学部	黄田 常嘉	嗜癪行動				
		医学部 公衆衛生学講座	和田裕雄	老化と高齢者の特徴				
		医学教育研究室	岡田 隆夫	行動経済学と医療				
		保健看護学部	長沼 淳	身体にまつわる自己決定の問題				
		呼吸器内科	瀬山 邦明	医学生・医療者であるという自覚と健康				
		スポーツ健康科学部	黄田 常嘉	神経症性障害の回避行動				
		医学部 生理学第一講座	小西 清貴	神経生理学から見たところ				
		スポーツ健康科学部	黄田 常嘉	鬱				
		スポーツ健康科学部	黄田 常嘉	発達障害の問題行動				
M 1	PBL	保健看護学部	長沼 淳	医療の思想と倫理				
M 1	生きる意志 (倫理学)	保健看護学部	長沼 淳	倫理学とは				
				医療倫理と生命倫理				
				自己決定権の歴史				
				自己決定権の理解				
				自己決定と他者決定				
				義務と権利				
				医療の倫理(1)				
				医療の倫理(2)				
				医療の倫理(3)				
				医療の倫理(4)				
				環境倫理について				
				環境倫理の課題				
				M 1	医療社会学	一般教育	佐伯 みか	オリエンテーション
								自分の原点を言語化する。
医療ミス・事故の原因								
医療ミス・事故防止対策								
倫理・社会問題								
患者満足度								
医師-患者関係								
医師-看護師関係								
医療の質向上・保証								
自分の原点と医療・医師								
M 1	医療行為と法	一般教育	池田 良彦					法解釈の基礎①
								法解釈の基礎②
								法解釈の基礎③
								法的責任①
				法的責任②				
				法的責任③				
				個人の尊厳と法①				
				個人の尊厳と法②				
				出生に関する法律問題①				
				出生に関する法律問題②				
				終末期医療の法律問題①				
				終末期医療の法律問題②				

学年		担 当		授 業 タ イ ト ル
M 1	文化の中の健康	病理・腫瘍学	樋野 興夫	がん哲学
		公衆衛生学	岡本 裕樹	ソーシャルキャピタルと健康
		国際教養学部	白山 芳久	伝統的治療と近代公衆衛生学による治療と予防
		公衆衛生学	野田 愛	社会格差と健康格差
		池沢神経科病院	儀藤 政夫	日本文化の中の精神医療
		心臓血管外科学	神作 麗	世界の多様な文化における健康(1)
		公衆衛生学	佐藤 准子	世界の多様な文化における健康(2)
		国際教養学部	和田 裕雄	文明と睡眠
M 1	医学研究入門Ⅱ	基礎研究医養成プログラム	伝田 香里	研究入門・まとめ 研究ガイドラインについて
M 2	Zone C	薬理学	櫻井 隆	生理・薬理実習オリエンテーション
		アトピー疾患研究センター	多田 昇弘	動物実験と遺伝子組換え実験
M 2	Zone D	微生物学	飯田 真理	微生物-12：消毒と滅菌と微生物検査
		微生物学	講座内全員	微生物学実習1：病原微生物取り扱いの基本手技
		微生物学	講座内全員	微生物学実習2：常在菌、病原菌の検出と同定。滅菌と消毒
M 2	Unit 1	解剖学・生体構造科学	市村 浩一郎	解剖 1：解剖実習序論
M 2	医療体験実習	医学教育研究室	全教員	オリエンテーション①②③ 附属病院実習後カリキュラム
M 2	医療安全から見た医療者のプロフェッショナリズム	病院管理学	川崎 志保理	医療安全から見た医療者のプロフェッショナリズム
M 2	OSCE運営補助	医学教育研究室	全教員	OSCE運営補助オリエンテーション-1 OSCE運営補助オリエンテーション-2 OSCE運営補助 Post Clinical Clerkship OSCE運営補助
M 3	Zone E	衛生学	北村 文彦	疫学-2 疫学方法論
		革新的医療技術開発研究センター	野尻 宗子	疫学-18 治験
		医史学研究室/公衆衛生学講座	澤井 直/谷川 武	社会医学序論-4 医療倫理 その1 医療倫理の歴史的展開と、その社会的背景
		医史学研究室/公衆衛生学講座	澤井 直/谷川 武	社会医学序論-5 医療倫理 その2 医療倫理の原則と事例(ケース)
M 3	Zone F	病理・腫瘍学講座	小林 敏之	遺伝子異常と疾患-1
		小児科学	恒松 由記子	遺伝子異常と疾患-2
		人体病理病態学	松本 俊治	遺伝子異常と疾患-3
		人体病理病態学	松本 俊治	遺伝子異常と疾患-4
		消化器内科学	芹澤 信子	臨床薬理学-2:「消化器悪性腫瘍に対する化学療法の進歩」
		法医学	齋藤 一之	中毒-3:「法中毒学(1)」
		放射線医学	笹井 啓資	中毒-5:「放射線とその影響」
		衛生学	篠原 厚子	中毒-6:「化学物質と社会-2」
		衛生学	北村 文彦	中毒-7:「化学物質と社会-4」
		衛生学	横山 和仁	中毒-8:「化学物質と社会-3」
		法医学	齋藤 一之	中毒-9:「法中毒学(2)」
		臨床薬理学	佐瀬 一洋	臨床薬理学-3: 医薬品開発と規制科学、臨床試験の倫理性
		人体病理病態学	松本俊治 福村由紀 他 全教員	病理学総論実習6: 外科病理総論
M 3	医療体験実習	医学教育研究室	全教員	オリエンテーション①② 附属病院実習後カリキュラム
M 3	Group 2	麻酔科学・ペインクリニック	林田 眞和	麻酔・ペイン01: 麻酔総論
M 3	Group 4 (旧Group 5)	医学教育研究室	鈴木 勉	医療面接01: 医療面接の進め方
精神医学		黄田 常嘉	精神-03: 司法精神医学・パーソナリティ障害	
M 4	Group 8	放射線治療学	直居 豊	放射-01: 放射線障害・防護
		総合診療科	福井 由希子	総合診04 感染症4: 感染症の疫学と流行
M 4	行動科学Ⅱ・社会医学	公衆衛生学講座	遠藤 源樹	公衆衛生学-11 精神保健
		衛生学講座/公衆衛生学講座	全教員	衛生・公衆衛生実習
		法医学研究室	全教員	法医学実習
M 4	臨床実習前トレーニング	病院管理学	小林 弘幸	医師としてのマナー・接遇・医療事故
		病院管理学	岩井 完	リスクマネジメント
		血液内科学	浜埜 康晴	インフォームドコンセント
		医学教育/呼吸器内科学	鈴木 勉	患者安全目標(JCI)
		臨床遺伝学/革新的医療技術開発研究センター	新井 正美/後藤 景子	遺伝医療総論/臨床遺伝学概論
M 4	M4臨床コア実習	臨床実習を担当する教員等が院内各所で医の原則・医学と医療の倫理等に係る指導を適宜おこなう		
M 5	M5臨床コア実習			
	M5臨床実習			
M 6	M6臨床実習			
M 6	学生インターンシップ実習(選択コース)			
M 6	必修講義			

各試験に関する事項・その他参考資料

－ 各学年の進級判定基準 －

1. 進級ならびに卒業判定の基本

進級ならびに卒業判定は、各学年における総合試験・個別試験・再試験の結果、体験実習・実験実習・臨床実習・共用試験（OSCE, CBT）など（以下「試験等」という）の評価、GPA、医学生としての態度・モチベーション、健康状況等を総合的に評価して、進級（卒業）判定会議・教授会等において審議し、学長が決定する。

2. 各学年における試験等

1年次

- 1) 一般教育： 前期・後期の各授業において指定された試験
- 2) 基礎医学入門： 定期試験： 組織細胞生物学定期試験
定期試験再試験： 組織細胞生物学定期試験再試験

2年次

- 1) 総合試験： ZoneA 組織学試験、ZoneA 神経解剖学試験、ZoneA 脳解剖実習試験、ZoneB 総合試験（生化学）、ZoneB 総合試験（発生）、ZoneC 総合試験、ZoneD 総合試験、Unit1 総合試験
実験実習： 組織学実習、脳解剖学実習、生化学・分子生物学実習、生理・薬理学実習、微生物学実習、免疫学実習、寄生虫病学実習、人体解剖実習
- 2) 総合試験再試験： ZoneA 組織学再試験、ZoneA 神経解剖学再試験、ZoneB 総合試験再試験（生化学）、ZoneB 総合試験再試験（発生）、ZoneC 総合試験再試験、ZoneD 総合試験再試験、Unit1 総合試験再試験
- 3) 個別試験： Zone・Unit でおこなわれる総合試験・総合試験再試験以外の試験
- 4) 体験実習等評価： 医学研究 I、基本手技、医療体験実習、医療安全から見た医療者のプロフェッショナルリズム、救急医学実習、OSCE 運営補助
- 5) English 中間試験、最終試験

3年次

- 1) 総合試験： ZoneE 総合試験、ZoneF 総合試験、Group1 総合試験、Group2 総合試験、Group3 総合試験、Group4 総合試験、Group5 総合試験、Group6 総合試験
 実験実習： 疫学・統計学演習、病理学総論実習、救急医学実習
- 2) 総合試験再試験： ZoneE 総合試験再試験、ZoneF 総合試験再試験、Group1 総合試験再試験、Group2 総合試験再試験、Group3 総合試験再試験、Group4 総合試験再試験、Group5 総合試験再試験、Group6 総合試験再試験
- 3) 基礎ゼミナール
- 4) 体験実習等評価： 基本手技、診察技法、医療面接、医療体験実習、救急医学実習
- 5) English

4年次

- 1) 総合試験： Group7 総合試験、Group8 総合試験、Group9 総合試験、行動科学Ⅱ・社会医学総合試験、臨床実習前トレーニング試験、M4 臨床コア実習試験
- 2) 総合試験再試験： Group7 総合試験再試験、Group8 総合試験再試験、Group9 総合試験再試験、行動科学Ⅱ・社会医学総合試験再試験、臨床実習前トレーニング試験再試験、M4 臨床コア実習試験再試験
- 3) 臨床実習等評価： 臨床実習前トレーニング、M4 臨床コア実習
- 4) 共用試験： C B T、O S C E
- 5) 共用試験再試験： C B T再試験、O S C E再試験
- 6) English

5年次

- 1) 総合試験： M5 臨床実習前期（コア科）試験、B S L 総合試験
- 2) 総合試験再試験： M5 臨床実習前期（コア科）試験再試験、B S L 総合試験再試験
- 3) 臨床実習評価： M5 臨床コア実習、M5 臨床実習

※評価方法

- 1) 2021年度2年次～5年次のカリキュラムに関する合否判定・評点については、出席状況、プレテスト・ポストテスト、レポート・スケッチ等の成績、実習の成績、勉学態度等も加味し総合的に判定を行う。

判定	評価	評点	G P	備考
合格	A	100点～90点	4	-
	B	89点～80点	3	
	C	79点～70点	2	
	D	69点～60点	1	
不合格	F	59点～0点	0	
失格	失格 (G)	/	-	授業数の3分の1を超える欠席の場合 試験を放棄した場合（未受験および受験資格なし）

※失格（G）（「/」）はGPA算出の対象外となる。

【GPA算出計算式】

$$\text{GPA} = \frac{\begin{array}{c} \text{Aの修得} \\ \text{単位(科目)数} \\ \times 4 \end{array} + \begin{array}{c} \text{Bの修得} \\ \text{単位(科目)数} \\ \times 3 \end{array} + \begin{array}{c} \text{Cの修得} \\ \text{単位(科目)数} \\ \times 2 \end{array} + \begin{array}{c} \text{Dの修得} \\ \text{単位(科目)数} \\ \times 1 \end{array} + \begin{array}{c} \text{Fの} \\ \text{単位(科目)数} \\ \times 0 \end{array}}{\text{履修単位(科目)数}}$$

6年次

- 1) 総合試験： 臨床実習後期試験
- 2) 卒業試験： 総合試験、卒業試験1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8、Post Clinical Clerkship OSCE
- 3) 補助試験・再試験： 臨床実習後期試験再試験、総合試験再試験、卒業補助試験A. B. C. D、Post Clinical Clerkship OSCE 再試験
- 4) 臨床実習評価： M6 臨床実習、学生インターンシップ実習（選択コース）

なお、教務委員会で指定された他の試験等を追加し、卒業・進級判定の参考とすることができる。

3. 受験資格

- 1) 受験資格は、規定する授業時間の3分の2以上を出席した者に与える。なお、他の受験資格については、教務委員会の申し合わせに従い、別途考慮する。
- 2) 体験実習及び実験実習については、当該授業のすべてに出席することを原則とする。
- 3) 特別な理由なく個別試験・総合試験・総合試験再試験・総合補助試験・定期試験・定期試験再試験、共用試験・共用試験再試験、実習評価の試験等を欠席した場合には、再度、試験は実施せず、「0点」とする。取り扱いは、進級判定会議において審議する。

4. 試験判定

1年次

- 1) 一般教育カリキュラムは、前期・後期の各科目責任者が評価し、一般教育協議会にて審議する。
- 2) 基礎医学入門定期試験は科目責任者が評価し、教務委員会にて審議する。
定期試験に不合格となった者には再試験を課す。判定は教務委員会で審議する。

2～5年次

- 1) 総合試験は、Zone・Unit・Group・臨床コア実習・臨床実習担当オーガナイザーが評価し、教務委員会にて審議する。
総合試験に不合格となった者には総合試験再試験を課す。総合試験再試験の判定は教務委員会で審議する。
- 2) 個別試験は、授業責任者が評価し、教務委員会に報告する。個別試験の再試験は実施しない。
- 3) 共用試験C B T、共用試験C B T再試験は、全国医学部長・病院長会議で提案された基準で判定する。
共用試験O S C E、共用試験O S C E再試験は、全国平均成績と学内成績等を基に基準を定め、オーガナイザーが評価し、教務委員会にて審議する。

6年次

- 1) 総合試験は、担当教務委員が評価し、教務委員会にて審議する。
- 2) 卒業試験は、「医学部卒業試験に関する基準」に準拠する。

5. 試験中の不正行為に対する処置について

- ① 試験中試験監督者が、学生の不正行為を発見して、その事実を確認したときは、その学生を試験場外に退出させる。
- ② 試験で不正行為を行った学生に対しては、理由の如何を問わず、学則第63条および第64条に則り、停学の懲戒処分とする。
 - i. 停学期間は1か月とする。
 - ii. 直接的に不正行為を行っていないくとも、不正行為に加担した場合にも原則として停学の処分を科す。
 - iii. 当該授業科目の成績を0点とする。
- ③ 試験終了後においても、当該科目担当者が不正行為があったと判断し、その事実を確認したときは、同様の処置を検討する。

一 受験資格および欠席・遅刻・早退等に関する内規 一

1. 出席の取りまとめ

- 1) 出席は教育要項に記載の各科目単位で取りまとめる。
- 2) 出席の取りまとめは当該授業科目責任者（オーガナイザー）が行う。
- 3) 基礎医学 Zone・Unit、臨床医学 Group、臨床実習前トレーニングに含まれる実験・実技等の実習の出席の取りまとめは当該授業科目責任者が行う。

2. 受験資格

- 1) 出席率が、当該授業科目に含まれる講義の2/3未満となった場合には、学則に従い当該科目試験の受験資格なしとすることを原則とする。総合試験においても上記規程を適用する。
- 2) 受験資格なしと判定された場合には、当該科目試験の受験を認めない。得点は0点とする。
- 3) 実習は、遅刻・早退をせずに全出席することを原則とする。

3. 欠席の取り扱い

【講義・実習の欠席】

- 1) 体調不良等やむを得ない理由により、講義・実習を欠席した場合には、本郷・お茶の水キャンパス事務室に備え付けの「欠席届」に理由を記入して届け出ることとする。
- 2) 実習を欠席した場合には、授業科目責任者の判断により、当該科目試験の受験を認めない場合がある。
- 3) 感染性疾患（インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎、感染性腸炎 等）に罹患した場合は、「順天堂医院感染対策ガイドライン」に準拠し、「出席停止」等の扱いとする。出席率は、欠席した授業数を分母から除外して算出する。ただし、「欠席届」「診断書（※）」等の必要書類を必ず提出することを条件とする。
- 4) 感染性疾患ではないが、体調不良のため欠席し、「欠席届」「診断書（※）」等の必要書類を提出した場合には、科目責任者（オーガナイザー等）の裁量により事情を考慮する場合がある。

【試験の欠席】

- 1) 体調不良等やむを得ない理由により、試験を欠席した場合には、本郷・お茶の水キャンパス事務室に備え付けの「追試験受験許可願」に理由を記入し、欠席理由を証明する書類（診断書（※）、交通機関の遅延証明書 等）を添付して、追試験の受験許可を願い出ることとする。
- 2) 欠席理由が認められた場合には、追試験を受験することができる。
- 3) 追試験の得点は、原則として素点のまま取り扱う。

（※）診断書は原則、順天堂大学附属病院発行のものとする。

4. 遅刻・早退

- 1) 交通機関の遅延等やむを得ない場合により、遅刻した場合には、遅延証明書等、理由を証明できる書類を担当教員に提出することとする。
- 2) 遅刻、または早退が合計3回となった場合には、欠席1回として取扱う。
- 3) 大幅な遅刻は、担当教員の判断により欠席とする場合がある。

5. 試験結果の記録

- 1) 進級判定会議，教授会による審議の結果、進級可となった場合には、試験成績や評点が60点未満であった合格科目（単位認定科目）の成績は原則として「可（60.0点）」として取扱うこととする。
- 2) 試験結果，成績評価の値が小数点第2位以下を示す場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの値とする。

6. 内規の改廃

- 1) この内規の改廃（追加・変更）は教務委員会にて諮り、決定することができる。

－ 医学部卒業試験に関する基準 －

1. 卒業試験の種類

試験の名称と構成する講座

[名称]	[構成する講座(科目)]
・ 総合試験	: 必修問題
・ 卒業試験1	: 消化器内科学、上部消化管外科学、下部消化管外科学、肝・胆・膵外科学、低侵襲外科学、乳腺腫瘍学
・ 卒業試験2	: 精神医学、神経学、脳神経外科学、リハビリテーション医学
・ 卒業試験3	: 循環器内科学、呼吸器内科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学
・ 卒業試験4	: 血液学、腫瘍内科学、臨床検査医学、病理学(人体病理病態学)、麻酔科学(麻酔科・ペインクリニック・緩和医療)
・ 卒業試験5	: 皮膚科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、整形外科、形成外科学
・ 卒業試験6	: 腎臓内科学、泌尿器科学、代謝内分泌学、膠原病内科学
・ 卒業試験7	: 小児科学、小児外科学、産婦人科学(産科・婦人科)
・ 卒業試験8	: 総合診療科、放射線医学、公衆衛生学(公衆衛生・衛生・法医学)、救急・災害医学
・ Post Clinical Clerkship OSCE	(本試験・再試験)

2. 卒業補助試験対象者の判定基準

- ・ 下記の基準に該当する者を、卒業補助試験の受験対象者とすることを原則とする。

試験(卒業試験1～8のどれか)の得点が「平均点-2SD未満」の者

- ・ 試験(卒業試験1～8のどれか)の得点が「平均点-2SD未満」の場合、各卒業補助試験のうち、該当する部分(卒業試験1～8)の補助試験対象とする。例えば、卒業試験1の得点が「平均点-2SD未満」の場合、卒業補助試験Aのうち、卒業試験1の部分が対象となり、卒業試験2の部分は対象外とする。
- ・ 試験(卒業試験1～8のどれか)の得点が「平均点-2SD以上」であるが、各講座(科目)の得点が基準に達していない者は、該当する各講座(科目)部分の補助試験対象とする。

3. 問題ごとの取扱いについて(卒業試験1～8)

- 1) 正解率10%以下の問題は、採点対象外とし、全員に加点として処理する。
- 2) 正解率10.1%以上～20%以下の問題は、識別指数が「-」の場合、採点対象外とし、全員に加点として処理する。
- 3) 質問事項に関しては担当講座の判断により、当該問題が不適切問題とされた場合には採点対象外とし、全員に加点として処理する。
- 4) 採点対象外および不適切問題については公表する。

4. 卒業補助試験について

試験範囲:「卒業試験1～8」の既出問題(一部修正あり)から、4回に分けて出題する。

[名称(個別試験)]	[構成する卒業試験]
・ 卒業補助試験A	: 卒業試験1及び2
・ 卒業補助試験B	: 卒業試験3及び4
・ 卒業補助試験C	: 卒業試験5及び6
・ 卒業補助試験D	: 卒業試験7及び8

5. 試験判定について

各試験は、実施責任者、試験を構成する講座・研究室、卒業支援委員会が評価・判定する。

ブループリント（医師国家試験設計表）

[出題割合は概数なので、必ずしも合計が100%にならない場合もある。最右列の数字は該当頁。]

【必修の基本的事項】

1	医師のプロフェッショナリズム	約4%
2	社会と医療	約6%
3	診療情報と諸証明書	約2%
4	医療の質と安全の確保	約4%
5	人体の構造と機能	約3%
6	医療面接	約6%
7	主要症候	約15%
8	一般的な身体診察	約13%
9	検査の基本	約5%
10	臨床判断の基本	約4%
11	救急初期診療	約9%
12	主要疾患・症候群	約10%
13	治療の基本	約4%
14	基本的手技	約4%
15	死、緩和ケア、終末期ケア	約2%
16	チーム医療	約2%
17	生活習慣とリスク	約5%
18	一般教養的事項	約2%

【医学総論】

I 保健医療論

約13%

1	健康・疾病・障害の概念と社会環境	約20%
2	社会保障制度と医療経済	約10%
3	保健・医療・福祉・介護の仕組み	約15%
4	保健・医療・福祉・介護の資源	約15%
5	保健・医療・福祉・介護関係法規	約15%
6	地域保健、地域医療	約15%
7	国際保健	約10%

II 予防と健康管理・増進

約17%

1	予防医学と健康保持増進	約12%
2	人口統計と保健統計	約8%
3	疫学とその応用	約8%
4	母子保健	約12%
5	成人保健	約4%
6	高齢者保健	約4%
7	精神保健福祉	約8%
8	感染症対策	約16%
9	国民栄養と食品保健	約4%
10	学校保健	約4%
11	産業保健	約8%
12	環境保健	約12%

III 人体の正常構造と機能

約9%

1	個体の構造	約8%
2	皮膚、頭頸部、感覚器、発声器	約15%
3	呼吸器、胸郭、胸壁	約8%
4	心臓、脈管	約8%
5	消化器、腹壁、腹膜	約8%
6	血液、造血器	約8%
7	腎、泌尿器、生殖器	約8%
8	心理、精神、神経、運動器	約15%
9	内分泌、代謝、栄養	約8%
10	免疫	約15%

IV 生殖、発生、成長、発達、加齢

約 9%

1	妊娠	約 15%
2	分娩	約 15%
3	産褥	約 8%
4	胎児	約 8%
5	新生児	約 15%
6	小児期	約 15%
7	思春期、青年期	約 8%
8	加齢、老化	約 15%

V 病因、病態生理

約 12%

1	疾病と影響因子	約 6%
2	先天異常	約 11%
3	損傷、炎症	約 11%
4	感染	約 11%
5	アレルギー、免疫異常	約 6%
6	腫瘍	約 11%
7	循環障害、臓器不全	約 6%
8	内分泌・代謝・栄養の異常	約 11%
9	中毒、放射線障害	約 11%
10	医原病	約 6%
11	死	約 11%

VI 症候

約 12%

1	全身症候	約 17%
2	皮膚、外表	約 6%
3	頭頸部、感覚器	約 11%
4	呼吸器、心臓、血管	約 11%
5	消化器	約 11%
6	血液、造血器、免疫	約 11%
7	腎、泌尿器、生殖器	約 11%
8	心理、精神機能	約 6%
9	神経、運動器	約 11%
10	内分泌、代謝、栄養	約 6%

VII 診察

約 7%

1	二次・三次救急の診察	約 30%
2	高齢者の診察と評価	約 30%
3	小児の診察	約 20%
4	胎児・新生児の診察と評価	約 10%
5	妊・産・褥婦と胎児の診察	約 10%

VIII 検査

約 9%

1	検体検査	約 23%
2	生体機能検査	約 23%
3	皮膚・感覚器・発声機能検査	約 8%
4	心理・精神機能検査	約 8%
5	妊娠・分娩・胎児・新生児の検査	約 8%
6	画像検査	約 15%
7	内視鏡検査	約 15%

IX 治療

約 13%

1	食事・栄養療法	約 10%
2	薬物療法	約 10%
3	輸液、輸血、血液浄化	約 10%
4	手術、周術期の管理、麻酔	約 10%
5	臓器・組織・細胞移植、人工臓器、再生医療	約 5%
6	放射線治療	約 5%
7	インターベンショナルラジオロジー<IVR>	約 5%
8	内視鏡治療	約 5%
9	リハビリテーション	約 10%
10	二次・三次救急の治療	約 15%
11	緩和ケア	約 10%
12	その他の治療法	約 5%

【医学各論】

I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常

約 5%

1	妊娠の異常
2	分娩・産褥の異常
3	胎児・新生児の異常
4	性分化・染色体異常、先天異常および成長・発達の障害

II 精神・心身医学的疾患

約 5%

1	症状性を含む器質性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動障害
2	気分障害、統合失調症と類縁疾患
3	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害
4	生理的障害、身体的要因に関連した障害
5	小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害

III 皮膚・頭頸部疾患

約 11%

1	炎症性皮膚疾患
2	腫瘍・母斑性皮膚疾患
3	その他の皮膚疾患
4	視機能異常、視神経疾患
5	眼窩・外眼部・前眼部・眼球の疾患
6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患
7	外耳・中耳疾患
8	内耳・神経疾患
9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患
10	咽頭・口腔・唾液腺疾患
11	損傷、奇形

IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患

約 7%

1	感染性呼吸器疾患
2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷
3	免疫学的機序が考えられる肺疾患
4	実質性・間質性肺障害
5	肺循環異常
6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍
7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態・機能異常と外傷
8	呼吸調節異常

V 心臓・脈管疾患

約 10%

1	不整脈
2	心不全
3	先天性心疾患
4	弁膜症
5	虚血性心疾患
6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷
7	血圧異常
8	脈管疾患

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患

約 13%

1	食道疾患
2	胃・十二指腸疾患
3	小腸・結腸疾患
4	直腸・肛門疾患
5	消化管共通疾患
6	肝疾患
7	胆道疾患
8	膵疾患
9	横隔膜・腹膜・腹壁疾患
10	急性腹症
11	損傷、異物
12	その他の重要な小児領域の疾患

Ⅶ 血液・造血器疾患

約 5%

1	赤血球系疾患
2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患
3	リンパ系疾患
4	出血性疾患と血栓傾向
5	その他の重要な小児領域の疾患

Ⅷ 腎・泌尿器・生殖器疾患

約 12%

1	糸球体病変
2	血管・尿細管・間質病変
3	腎機能の障害による異常
4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患
5	腎・尿路・生殖器の炎症
6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍
7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍
8	月経異常、不妊、不育
9	更年期・閉経後障害
10	その他の尿路・生殖器異常

Ⅸ 神経・運動器疾患

約 9%

1	脳血管障害
2	脳腫瘍
3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患
4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒
5	末神経・神経筋接合部・筋疾患
6	発作性・機能性・自律神経系疾患
7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患
8	上肢・下肢の運動器疾患、非感染性骨・関節・四肢軟部疾患
9	骨・軟部腫瘍と類似疾患
10	神経・運動器の外傷、脳・脊髄の奇形、神経皮膚症候群、その他
11	その他の重要な小児領域の疾患

X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患

約 8%

1	間脳・下垂体疾患
2	甲状腺疾患
3	副甲状腺<上皮小体>疾患とカルシウム・リン代謝異常
4	副腎皮質・髄質疾患
5	その他の内分泌疾患
6	糖〔質〕代謝異常
7	脂質代謝異常
8	タンパク・アミノ酸代謝異常
9	その他の代謝異常
10	その他の重要な小児領域の疾患
11	乳腺・乳房疾患

XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病

約 5%

1	アレルギー性疾患
2	膠原病と類縁疾患
3	原発性免疫不全症
4	続発性免疫不全症
5	その他の重要な小児領域の疾患

XII 感染性疾患

約 8%

1	ウイルス
2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア
3	細菌(抗酸菌<マイコバクテリア>を除く)
4	抗酸菌<マイコバクテリア>
5	真菌、寄生虫、その他の病原体

XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患

約 5%

1	食中毒、病害動物による疾患
2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒
3	喫煙による影響
4	産業中毒とその他の職業性疾患
5	物理的原因・生活環境因子による障害

2021年度 医学部試験等日程

2021年度 M2～M6

(※日程等は、学事の都合により変更になる場合があります)

【M2】

月 日	曜日	試 験 名	試験会場	開始時間
4月1日	木	健康診断 (※4/1午後に必ず受診すること。)	別途連絡	別途連絡
5月13日	木	Zone A 組織学試験	別途連絡	13:30
6月14日	月	Zone A 脳解剖実習試験	別途連絡	13:30
6月17日	木	Zone A 神経解剖学試験	別途連絡	13:30
7月9日	金	Unit 1 中間試験	別途連絡	13:30
7月14日	水	Zone B 総合試験 (発生)	別途連絡	13:30
7月21日	水	English for Medicine I 中間試験	別途連絡	10:00
8月21日	土	Zone A 組織学試験 再試験	別途連絡	10:00
8月24日	火	Zone A 神経解剖学試験 再試験	別途連絡	13:30
8月28日	土	Zone B 総合試験 (発生) 再試験	別途連絡	10:00
8月30日	月	Zone B 総合試験 (生化学)	別途連絡	10:00
9月18日	土	OSCE運営補助 (必須)	別途連絡	別途連絡
10月2日	土	OSCE追・再試験運営補助 (必須)	別途連絡	別途連絡
10月4日	月	Zone C1 試験	別途連絡	10:00
10月22日	金	Post Clinical Clerkship OSCE運営補助 (必須)	別途連絡	別途連絡
10月23日	土	Post Clinical Clerkship OSCE運営補助 (必須)	別途連絡	別途連絡
10月30日	土	Post Clinical Clerkship OSCE再試験運営補助 (必須)	別途連絡	別途連絡
11月6日	土	Zone B 総合試験 (生化学) 再試験	別途連絡	10:00
11月22日	月	Zone C2 試験	別途連絡	10:00
12月6日	月	基本手技試験	別途連絡	別途連絡
12月13日	月	Zone C 総合試験	別途連絡	10:00
12月20日	月	Unit 1 総合試験	別途連絡	10:00
1月15日	土	Zone C 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
1月29日	土	Unit 1 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
1月26日	水	English for Medicine I 最終試験	別途連絡	10:00
2月18日	金	Zone D 総合試験	別途連絡	10:00
3月1日	火	Zone D 総合試験 再試験	別途連絡	10:00

2021年度 医学部試験等日程

2021年度 M2～M6

(※日程等は、学事の都合により変更になる場合があります)

【M 3】

月 日	曜日	試 験 名	試験会場	開始時間
4月1日	木	健康診断 (※4/1午前に必ず受診すること。)	別途連絡	別途連絡
4月9日	金	基礎ゼミナールオリエンテーション	別途連絡	別途連絡
4月23日	金	Zone E 総合試験	別途連絡	10:00
5月26日	水	English for Medicine II 試験	別途連絡	10:00
6月4日	金	Zone F 総合試験	別途連絡	10:00
7月19日	月	Zone E 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
7月19日	月	Zone F 総合試験 再試験	別途連絡	13:30
7月21日	水	基礎ゼミナール全体発表会	別途連絡	別途連絡
9月29日	水	Group 1 総合試験	別途連絡	10:00
10月16日	土	Group 1 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
10月27日	水	Group 2 総合試験	別途連絡	10:00
11月19日	金	Group 3 総合試験	別途連絡	10:00
11月22日	月	基本手技試験	別途連絡	別途連絡
11月27日	土	Group 2 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
12月18日	土	Group 3 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
1月5日	水	Group 4 総合試験	別途連絡	10:00
1月15日	土	基本手技試験再試験	別途連絡	別途連絡
1月28日	金	Group 5 総合試験	別途連絡	10:00
2月5日	土	Group 4 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
2月9日	水	診察技法試験	別途連絡	別途連絡
2月16日	水	診察技法試験再試験	別途連絡	別途連絡
2月19日	土	Group 5 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
2月25日	金	Group 6 総合試験	別途連絡	10:00
3月3日	木	Group 6 総合試験 再試験	別途連絡	10:00

2021年度 医学部試験等日程

2021年度 M2～M6

(※日程等は、学事の都合により変更になる場合があります)

【M 4】

月 日	曜日	試 験 名	試験会場	開始時間
4月2日	金	健康診断 (※4/2午前に必ず受診すること。)	別途連絡	別途連絡
4月30日	金	Group 7 総合試験	別途連絡	10:00
5月21日	金	Group 8 総合試験	別途連絡	10:00
5月29日	土	Group 7 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
6月19日	土	Group 8 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
6月23日	水	行動科学Ⅱ・社会医学試験	別途連絡	10:00
7月5日	月	行動科学Ⅱ・社会医学試験 再試験	別途連絡	10:00
7月20日	火	Group 9 総合試験	別途連絡	10:00
7月21日	水	Clinical Skills for International Medicine 試験	別途連絡	13:30
8月23日	月	Group 9 総合試験 再試験	別途連絡	10:00
8月30日	月	CBTオリエンテーション	マルチメディア教室	別途連絡
8月31日	火	CBT本試験 (※8:50開場、9:10までに着席)	マルチメディア教室	別途連絡
9月17日	金	OSCEオリエンテーション	別途連絡	別途連絡
9月18日	土	OSCE (共用試験)	別途連絡	別途連絡
9月28日	火	CBT 追・再試験	マルチメディア教室	別途連絡
10月1日	金	臨床実習前トレーニング試験	別途連絡	10:00
10月2日	土	OSCE 追・再試験	別途連絡	別途連絡
12月25日	土	臨床実習前トレーニング試験再試験	別途連絡	10:00
2月28日	月	M4臨床コア実習試験	別途連絡	10:00
3月4日	金	M4臨床コア実習試験再試験	別途連絡	10:00

2021年度 医学部試験等日程

2021年度 M2～M6

(※日程等は、学事の都合により変更になる場合があります)

【M 5】

月 日	曜日	試 験 名	試験会場	開始時間
4月3日	土	健康診断（※4/3午前に必ず受診すること。）	別途連絡	別途連絡
8月28日	土	M5臨床実習前期（コア科）試験	別途連絡	10:00
10月2日	土	M5臨床実習前期（コア科）試験再試験	別途連絡	10:00
2月28日	月	BSL総合試験（多肢選択問題 ※全科対象）	別途連絡	13:30
3月4日	金	BSL総合試験（多肢選択問題 ※全科対象）再試験	別途連絡	10:00

【M 6】

月 日	曜日	試 験 名	試験会場	開始時間
4月2日	金	健康診断（※4/2午後に必ず受診すること。）	別途連絡	別途連絡
5月1日	土	臨床実習後期試験	別途連絡	10:00
7月3日	土	臨床実習後期試験再試験	別途連絡	10:00
7月21日	水	総合試験	別途連絡	13:30
8月24日	火	卒業試験①消内、外科（上部・下部・肝胆膵・低侵襲・乳腺）	別途連絡	10:00
8月31日	火	卒業試験②精神、神経、脳外、リハビリ	別途連絡	10:00
9月7日	火	卒業試験③循内、呼内、心外、呼外	別途連絡	10:00
9月14日	火	卒業試験④血液、腫瘍内科、臨検、病理、麻酔・ペイン、緩和	別途連絡	10:00
9月28日	火	卒業試験⑤皮膚、眼科、耳鼻、整形、形成	別途連絡	10:00
10月5日	火	卒業試験⑥腎内、泌尿器、代内、膠内	別途連絡	10:00
10月12日	火	卒業試験⑦小児、児外、産科・婦人	別途連絡	10:00
10月19日	火	卒業試験⑧総合診、放射、公衆衛生、衛生、法医、救急	別途連絡	10:00
10月22日	金	Post Clinical Clerkship OSCE	別途連絡	別途連絡
10月23日	土	Post Clinical Clerkship OSCE	別途連絡	別途連絡
10月25日	月	卒業補助試験A	別途連絡	10:00
10月25日	月	卒業補助試験B	別途連絡	13:30
10月26日	火	卒業補助試験C	別途連絡	10:00
10月26日	火	卒業補助試験D	別途連絡	13:30
10月27日	水	総合試験再試験	別途連絡	10:00
10月30日	土	Post Clinical Clerkship OSCE 再試験	別途連絡	別途連絡
11月19日	金	Post Clinical Clerkship OSCE（予備日）	別途連絡	別途連絡
11月20日	土	Post Clinical Clerkship OSCE（予備日）	別途連絡	別途連絡
別途連絡	別途連絡	国家試験願書作成のため全員集合（予定）	別途連絡	別途連絡

1. 学術メディアセンター備え付け

- ・このリストに挙げた「DVD」は、学術メディアセンターに備え付けてあり、利用者用パソコンで視聴できる。
- ・「電子書籍」は、学術メディアセンターのウェブサイト「電子ジャーナル・電子ブックリスト」から視聴できる。
- ・ほかにもジャーナル・教科書と共に動画を収載する「ClinicalKey」が閲覧可能。
- ・最新の情報は、学術メディアセンターのウェブサイト「指定図書リスト」にリンクをはっています。

番号	専門分野	タイトル (分類番号)	年	メディア
	分子生物学			
	解剖学	基礎医学シリーズ 目で見る解剖と生理 (第2版)		
1		第1巻. 神経系 I	2009	電子書籍
2		第2巻. 神経系 II	2009	電子書籍
3		第3巻. 循環系 I	2008	電子書籍
4		第4巻. 循環系 II	2010	電子書籍
5		第5巻. 血液	2009	電子書籍
6		第6巻. 呼吸	2009	電子書籍
7		第7巻. 自律神経	2010	電子書籍
8		第8巻. 運動系 I	2010	電子書籍
9		第9巻. 運動系 II	2010	電子書籍
10		第10巻. 消化系 I	2010	電子書籍
11		第11巻. 消化系 II	2010	電子書籍
12		第12巻. 腎・尿路	2009	電子書籍
13		第13巻. 生殖	2010	電子書籍
14		第14巻. 免疫	2010	電子書籍
15		第15巻. 細胞・遺伝子	2010	電子書籍
		NHK DVD ; NHKスペシャル 人体 : 神秘の巨大ネットワーク		
16		第1集. “腎臓”が寿命を決める (AVQS/Nhk/1)	2018	DVD
17		第2集. 驚きのパワー!“脂肪と筋肉”が命を守る (AVQS/Nhk/2)	2018	DVD
18		第3集. “骨”が出す!最高の若返り物質 (AVQS/Nhk/3)	2018	DVD
19		第4集. 万病撃退!“腸”が免疫の鍵だった (AVQS/Nhk/4)	2018	DVD
20		第5集. “脳”すごいぞ!ひらめきと記憶の正体 (AVQS/Nhk/5)	2018	DVD
21		第6集. “生命誕生”見えた!母と子ミクロの会話 (AVQS/Nhk/6)	2018	DVD
22		第7集. “健康長寿”究極の挑戦 (AVQS/Nhk/7)	2018	DVD
	生理学			
	生化学	NHK DVD ; NHKスペシャル 人体II : 遺伝子		
23		第1集. あなたの宝物“トレジャーDNA” (AVQU/Nhk/1)	2019	DVD
24		第2集. “DNAスイッチ”が運命を変える (AVQU/Nhk/2)	2019	DVD
	薬理学	Dr.岩田の感染症アップグレード抗菌薬シリーズ		
25		第1巻 (AVQV/Dr/1)	2006	DVD
26		第2巻 (AVQV/Dr/2)	2007	DVD
27		第3巻 (AVQV/Dr/3)	2007	DVD
28		第4巻 (AVQV/Dr/4)	2007	DVD
	微生物・免疫			
	検査と実験	目で見る臨床検査 (第2版)		
29		第1巻. 一般検査	2010	電子書籍
30		第2巻. 血液学検査	2010	電子書籍
31		第3巻. 血液生化学検査	2010	電子書籍
32		第4巻. 代謝・内分泌検査	2010	電子書籍
33		第5巻. 臓器機能検査	2011	電子書籍
34		第6巻. 微生物学検査	2011	電子書籍
35		第7巻. 免疫血清検査	2010	電子書籍
36		第8巻. 病理検査	2010	電子書籍
37		第9巻. 生理機能検査 I : 脳波検査・筋電図検査	2010	電子書籍
38		第10巻. 生理機能検査 II : 呼吸機能検査・循環機能検査	2011	電子書籍
	病理学	病気の基礎知識 病気の成因・病態と治療		
39		第1巻. 循環の領域 : 不整脈 虚血性心疾患(狭心症, 心筋梗塞) 心不全(急性, 慢性) 高血圧	2008	電子書籍
40		第2巻. 血液の領域 : 貧血 白血病 血栓・塞栓症 血友病	2008	電子書籍
41		第3巻. 呼吸の領域 : 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) かぜ症候群 肺炎 肺結核	2008	電子書籍
42		第4巻. 消化の領域 : 胃炎 消化性潰瘍 過敏性腸症候群<IBS> 下痢・便秘 ウイルス性肝炎	2009	電子書籍
43		第5巻. 代謝の領域 : 糖尿病 脂質異常症 高尿酸血症・痛風 骨粗鬆症	2009	電子書籍
44		第6巻. 腎・泌尿器の領域 : 腎臓とその疾患 糸球体腎炎 続発性糸球体疾患 前立腺肥大症 勃起障害<ED>	2009	電子書籍

番号	専門分野	タイトル (分類番号)	年	メディア
45		第7巻. 運動・神経の領域：てんかん パーキンソン病 認知症 脳血管障害	2009	電子書籍
46		第8巻. 精神の領域：精神疾患とは 統合失調症 気分障害(うつ病) 神経症性障害 睡眠障害(不眠症)	2010	電子書籍
47		第9巻. 免疫の領域：炎症 アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、花粉症) 自己免疫疾患(関節リウマチ、SLE) 免疫不全(AIDS)	2010	電子書籍
48		第10巻. 悪性新生物の領域：悪性腫瘍の概要 胃癌 大腸癌 肝癌 肺癌 乳癌 子宮癌	2010	電子書籍
49		The emperor of all maladies : a biography of cancer (AVQZ/Muk)	2011	CD-ROM
50	医業・法医学	交通鑑識 池森昭の仕事：はいつくばれ、その先に真実がある <NHK DVD；プロフェッショナル：仕事の流儀：[第8期]> (AVW/Nhk)	2011	DVD
	公衆衛生	目で見る公衆衛生		
51		第1巻. 健康と公衆衛生	2008	電子書籍
52		第2巻. 健康指標と感染症予防	2008	電子書籍
53		第3巻. 生活環境の保全	2008	電子書籍
54		第4巻. 健康と生活	2008	電子書籍
55		第5巻. 保健活動	2008	電子書籍
56		第6巻. 社会保障制度	2008	電子書籍
	臨床医学	目で見る病気 (第2版)		
57		第1巻. 病気の原因	2004	電子書籍
58		第2巻. 病気と遺伝子	2004	電子書籍
59		第3巻. 循環の疾患	2002	電子書籍
60		第4巻. 脳血管障害	2003	電子書籍
61		第5巻. 呼吸器の疾患	2003	電子書籍
62		第6巻. 消化器の疾患	2003	電子書籍
63		第7巻. 肝・胆・膵の疾患自律神経	2003	電子書籍
64		第8巻. 泌尿器の疾患	2004	電子書籍
65		第9巻. 生殖器の疾患	2004	電子書籍
66		第10巻. 内分泌・代謝疾患	2005	電子書籍
67		第11巻. 血液の疾患	2003	電子書籍
68		第12巻. 免疫疾患	2005	電子書籍
69		第13巻. がん 総説	2005	電子書籍
70		第14巻. がん 特異性皮膚・脳・骨軟部腫瘍を中心として	2005	電子書籍
71		第15巻. 感染症	2005	電子書籍
		基礎医学シリーズ 目で見る医学の基礎 (第2版)		
72		第1巻. 細胞と組織	2006	電子書籍
73		第2巻. 神経系	2006	電子書籍
74		第3巻. 循環器系	2005	電子書籍
75		第4巻. 呼吸器系	2005	電子書籍
76		第5巻. 骨格・筋肉系	2006	電子書籍
77		第6巻. 消化器系	2006	電子書籍
78		第7巻. 泌尿器系	2005	電子書籍
79		第8巻. 生殖器系	2006	電子書籍
80		第9巻. 内分泌系	2006	電子書籍
81		第10巻. 血液	2007	電子書籍
82		第11巻. 皮膚・感覚器系	2007	電子書籍
83		第12巻. 感染	2007	電子書籍
84		第13巻. 免疫系	2007	電子書籍
		リハビリテーション医学 (第2版)		
85		第1巻. 脳卒中(急性期)のリハビリテーション	2012	電子書籍
86		第2巻. 摂食・嚥下障害	2013	電子書籍
87		第3巻. 排尿障害	2013	電子書籍
88		第4巻. 切断と義肢	2013	電子書籍
89		第5巻. 呼吸器のリハビリテーション	2013	電子書籍
90		第6巻. 脊髄損傷	2014	電子書籍
91		第7巻. 神経・筋疾患	2014	電子書籍
92		第8巻. 小児の発達障害	2013	電子書籍
93		第9巻. 認知症	2013	電子書籍
94		第10巻. 失語症	2015	電子書籍
95		第11巻. 脳卒中の回復期	2015	電子書籍
96		第12巻. 疼痛	2013	電子書籍
97		第13巻. 関節リウマチ	2013	電子書籍
98		第14巻. 高次脳機能障害	2013	電子書籍
99		第15巻. 心臓のリハビリテーション	2013	電子書籍

番号	専門分野	タイトル (分類番号)	年	メディア
100		第16巻. 小児疾患のリハビリテーション	2013	電子書籍
101		第17巻. 内部障害のリハビリテーション	2013	電子書籍
102		第18巻. 骨粗鬆症のリハビリテーション	2012	電子書籍
103		第19巻. 運動器のリハビリテーション 1	2014	電子書籍
104		第20巻. 運動器のリハビリテーション 2	2014	電子書籍
105		救命救急ER誕生: 日本初衝撃の最前線 <NHKビデオ; プロジェクトX: 挑戦者たち; 第5期; 第9巻> (ABWB/Nhk)	2002	DVD
106		リハビリ医酒向正春の仕事: “希望のリハビリ、ともに闘い抜く” <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第11期]> (AVWB/Nhk)	2014	DVD
107	感染症	WHO医師 進藤奈邦子の仕事: 鳥インフルエンザを封じ込めろ <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第1期]> (AVWC/Nhk)	2006	DVD
108	整形外科	整形外科医杉本和隆の仕事: 歩くしあわせを、もう一度 <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第16期]> (AVWE/Nhk)	2018	DVD
	呼吸器系	小三J読影法でわかる! Dr.佐藤の胸部写真の楽しみかた		
109		上巻 (AVWF/Sho/1)	2006	DVD
110		下巻 (AVWF/Sho/2)	2006	DVD
111		呼吸器外科医 伊達洋至の仕事: 絆(きずな)を、最高のメスに <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第8期]> (VWVF/Nhk)	2011	DVD
112	循環器系	血管外科医 大木隆生の仕事: すべてを捧げて、命をつなぐ <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第6期]> (AVWG/Nhk)	2010	DVD
113		心臓外科医 天野篤の仕事: 一途一新、明日をつむぐ <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第10期]> (AVWG/Nhk)	2013	DVD
114	血液系	決断命の一滴: 白血病・日本初の骨髄バンク <NHKビデオ; プロジェクトX: 挑戦者たち; 第4期; 第8巻> (AVWH/Nhk)	2002	DVD
115	消化器系	ガンを探し出せ: 完全国産・胃カメラ開発 <NHKビデオ; プロジェクトX: 挑戦者たち; 第4巻> (AVWI/Nhk)	2001	DVD
116		肝臓外科医高山忠利の仕事: “遠回りこそ、最良の近道” <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第14期]> (AVWI/Nhk)	2016	DVD
117	内分泌系	チェルノブイリの傷奇跡のメス <NHKビデオ; プロジェクトX: 挑戦者たち; 第7期; 第2巻> (AVWK/Nhk)	2004	DVD
118	神経系	脳神経外科医坂井信幸の仕事: 逃げない思いが、明日を拓く <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第11期]> (AVWL/Nhk)	2015	DVD
	放射線医学	チャレンジ!超音波走査		
119		上巻 (AVWN/Cha/1)	2007	DVD
120		下巻 (AVWN/Cha/2)	2007	DVD
121		“の”の字2回走査法で出来る!超音波手技大原則 第1巻 (AVWN/Non/1)	2007	DVD
122		3か国語で使える話せる放射線検査: これは便利! 英語・中国語・韓国語 (WN18/Sak)	2008	電子書籍
123	外科-手術	レーザー光のメスで命を救え: 倒産工場と脳外科医の闘い <NHKビデオ; プロジェクトX: 挑戦者たち; 第4期; 第1巻> (AVWO/Nhk)	2002	DVD
124		小児心臓外科医 佐野俊二の仕事: ひたむきに“治す人”をめざせ <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第1期]> (AVWO/Nhk)	2006	DVD
125		再生医療 岡野光夫の仕事: “夢の医療”に挑む <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第8期]> (AVWO/Nhk)	2011	DVD
126		外科医笹子三津留の仕事: まっすぐ無心に、人生を診る <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第11期]> (AVWO/Nhk)	2015	DVD
127		小児外科医 山高篤行の仕事: 恐れの前に、希望がある <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第13期]> (AVWO/Nhk)	2016	DVD
	婦人科			
	産科			
	皮膚科			
128	小児科	耳を澄ませ赤ちゃんの声: 伝説のパルモア病院誕生 <NHKビデオ; プロジェクトX: 挑戦者たち; 第3期; 第2巻> (AVWS/Nhk)	2002	DVD
129		院内学級教師副島賢和の仕事: 涙も笑いも、力になる <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第8期]> (AVWS/Nhk)	2011	DVD
130		小児神経科医友田明美の仕事: 傷ついた親子に、幸せを <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第17期]> (AVWS/Nhk)	2019	DVD
131	老年医学	毎日がアルツハイマー (AVWT/Sek/1)	2012	DVD
132		毎日がアルツハイマー2 (AVWT/Sek/2)	2014	DVD
	耳鼻咽喉科			
	眼科			
133	病院	地下鉄サリン救急医療チーム最後の決断 <NHK DVD; プロジェクトX: 挑戦者たち> (AVWX/Nhk)	2013	DVD
134		ハイパーレスキュー部隊長 宮本和敏の仕事: 隊長は背中で指揮をとる <NHK DVD; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第5期]> (AVWX/Nhk)	2009	DVD
	看護	目で見る新生児看護		
135		第1巻. 保育器の機能と看護 (AVWY/Med/1)	2007	DVD
136		第2巻. 保育器内での新生児ケアの実践 (AVWY/Med/2)	2007	DVD
137		子どもの安全を守る看護 <臨床で役に立つ小児看護技術> (AVWY/Rin)	2007	DVD
		目で見る国際看護		
138		第1巻. 国際看護の現状	2012	電子書籍

番号	専門分野	タイトル (分類番号)	年	メディア
139		第2巻. グローバルヘルス	2012	電子書籍
140		第3巻. グローバルヘルスに関する国際機関	2012	電子書籍
141		専門看護師 北村愛子の仕事: 迷わず走れ、そして飛び込め <NHK DVD ; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第3期]> (AVWY/Nhk)	2007	DVD
142		がん看護専門看護師 田村恵子の仕事: 希望は、必ず見つかる <NHK DVD ; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第5期]> (AVWY/Nhk)	2009	DVD
143		介護福祉士 和田行男の仕事: 闘う介護、覚悟の現場 <NHK DVD ; プロフェッショナル: 仕事の流儀; [第10期]> (AVWY/Nhk)	2013	DVD
144	その他	Doctor House, Season.1 全12巻 日本語吹替版 (AVWX/Doc1-1)-(AVWX/Doc1-12)	2008	DVD
145		Doctor House, Season.2 全12巻 日本語吹替版 (AVWX/Doc2-1)-(AVWX/Doc2-12)	2009	DVD
146		Doctor House, Season.3 全12巻 日本語吹替版 (AVWX/Doc3-1)-(AVWX/Doc3-12)	2010	DVD
147		ER: 緊急救命室Ⅹ, 全6巻 日本語吹替版 (AVWX/Er10-1)-(AVWX/Er10-6)	2005	DVD
148		ER: 緊急救命室ⅩⅤ, 全23巻 日本語吹替版 (AVWX/Er15-1)-(AVWX/Er15-23)	2010	DVD
149		JIN: 仁 全7巻 (AVWX/Jin/1)-(AVWX/Jin/7)	2010	DVD
150		JIN: 仁 完結編 全7巻 (AVWX/Jin/2-1)-(AVWX/Jin/2-7)	2011	DVD